

聴覚支援学校校舎等改築設計 計画概要書

令和5年11月
宮城県土木部営繕課

Ⅰ 基本方針

宮城県立聴覚支援学校は、聴覚障害者を対象とした特別支援学校であると共に、聴覚障害教育のセンター的役割としての機能性、既存施設を考慮した合理的な配置計画、周辺環境やユニバーサルデザインへの配慮等が必要である。本業務は、施設の老朽化が著しいことから、安全性の確保、また、幼児児童生徒の発達を支援するための機能、学習環境の整備を目的とした校舎等の改築設計を行うものである。

Ⅱ 施設計画・設計条件等

1 業務委託名称

聴覚支援学校校舎等改築設計業務委託

2 建築場所

仙台市太白区八本松二丁目7-29

敷地面積 約27,936㎡

3 施設用途

特別支援学校

平成31年国土交通省告示第98号 別添二

第七号第1類

4 法規制等

- | | |
|-------------|---|
| (1) 都市計画区域等 | 都市計画区域 市街化区域 |
| (2) 用途地域等 | 第2種住居地域、一部近隣商業地域 |
| (3) 容積率 | 200% (第2種住居地域)、300% (近隣商業地域) |
| (4) 建蔽率 | 60% (第2種住居地域)、80% (近隣商業地域) |
| (5) 防火地域等 | 建築基準法第22条区域、一部準防火地域 |
| (6) 下水道処理 | 処理区域内 (合流式処理区域内) |
| (7) 道路 | 市道 幅員：20m |
| (8) その他区域等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第3種高度地区 ・ 景観計画 (郊外住宅地ゾーン) ・ 洪水浸水想定区域 0.5m～3.0mエリア <p>「せんだいくらしのマップ 参照」</p> |

5 設計概要

(1) 新築設計 一式

(別表2参照)

① 校舎	延べ面積	約 5,800 m ²
	内訳	管理諸室 約 1,800 m² 普通教室 約 1,000 m² 特別教室 約 1,600 m² 共用部分 約 1,400 m²
② 工業技術科実習棟	延べ面積	約 380 m ²
③ 車庫	延べ面積	約 40 m ²
④ 屋内運動場	延べ面積	約 880 m ²
⑤ 寄宿舍	延べ面積	約 1,640 m ²
⑥ 付帯施設		
駐車場 170 台		
		(職員用 120 台、来客用 30 台、幼稚部送迎用 20 台)
⑦ その他		
		建築設備設計、外構設計を含む

(2) 解体設計 一式

(別表3参照)

①校舎	延べ面積	約 7,570 m ²
②屋内運動場	延べ面積	約 880 m ²
③寄宿舍	延べ面積	約 1,840 m ²
④その他附属施設	産業工芸科実習棟、機械システム科実習棟、その他	
	延べ面積	約 1,720 m ²

(3) グラウンド整備設計 一式

(4) 履行期間

令和 8 年 3 月 6 日まで (予定)

(5) 予定工事費

約 58 億円 (税込)

6 整備方針

(1) 宮城県立聴覚支援学校改築事業に係る基本計画

【宮城県教育庁施設整備課作成（別添資料1）】

(2) 宮城県聴覚支援学校 学校要覧

【宮城県聴覚支援学校作成（別添資料2）】

7 その他

- ・仮設校舎及び仮設寄宿舍は計画しないこととする。
- ・現グラウンドに校舎及び寄宿舍の整備を想定しているが、段階的な建築計画等により施設の運営に支障が生じない場合は、校舎等跡地への整備も可とする。
- ・学校敷地内への出入口は、送迎時の混雑回避のため、幼稚部用と小・中・高等部用の出入口を分けて計画すること。現在の出入口の位置を変更してもよいこととする。
- ・敷地内にバスロータリー（バスの大きさ：全長 6m40cm、全幅 2m10cm）を計画すること。
- ・現況レベルにて計画すること。（造成は行わない。）
- ・周辺の住環境への通風・日照、プライバシー等に配慮した計画とすること。
- ・幼稚部及び小学部の遊び場をそれぞれ適宜計画すること。
- ・校舎等の解体跡地には、3,600㎡以上のグラウンド（200mトラック）を整備することとし、グラウンド以外（空地部分）の土地利用については、提案によることとする。
- ・新築校舎は、工業技術科実習棟、屋内運動場及び寄宿舍と渡り廊下等で接続すること。
- ・工事期間中の施設の運営及び安全の確保に配慮すること。
- ・建物は、ライフサイクルを通じた環境負荷の低減に配慮すること。
- ・校舎は ZEB Oriented 相当の省エネ基準以上とすること。
- ・太陽光発電設備（蓄電池含む）の設置にも対応できるよう計画すること。
- ・地質調査は、設計業務委託期間中に別途実施する予定である。

8 添付資料

別表1	事業スケジュール（予定）
別表2	聴覚支援学校校舎等 整備諸室等一覧
別表3	解体建物等一覧
別図1	計画敷地位置図
別図2	整備計画図
別図3	既存建物等配置図
別添資料1	宮城県立聴覚支援学校改築事業に係る基本計画
別添資料2	宮城県聴覚支援学校 学校要覧
参考資料1	地質調査報告書
参考資料2	構内設備系統図

別表 1

事業スケジュール（想定）

[illegible]

聴覚支援学校校舎等 整備諸室等一覧(目安)

【聴覚支援学校 校舎棟】

分類	室名	室数	面積(㎡)	室を利用する部門						備考
				管理	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	
管理諸室	校長室	1	42	○						
	応接室	1	18	○						
	職員室	1	198	○	○	○	○	○	○	
	事務室	1	42	○						
	図書室	1	72	○	○	○	○	○	○	
	図書準備室	1	42	○						
	書庫	1	36	○						
	倉庫	1	18	○						
	技師室(業務員室)	1	42	○						
	保健室	1	63	○	○	○	○	○	○	
	カウンセリング室	1	18	○	○	○	○	○	○	乳幼児・保護者相談、養育相談、就学相談
	教育相談センター	1	18	○	○	○	○	○	○	教育相談センター、聴力測定室、自立活動室は隣接が望ましい。
	自立活動室	1	18	○	○	○	○	○	○	
	教育相談室	1	18	○	○	○	○	○	○	来校者(外部)教育相談室
	会議室	1	234	○		○	○	○	○	
	小会議室	1	42	○		○	○	○	○	
	印刷室	1	18	○						
	サーバー室	1	18	○						
	更衣室(1階)	2	36	○						
	更衣室(2階)	2	36	○						
	進路指導室	1	36	○				○	○	
	生徒会室	1	36			○	○	○	○	「児生会」(小学部から専攻科までの構成)
	保護者控室	1	36		○					
	沿革資料室	1	18	○						
	乳幼児室	2	72		○					
	聴力測定室	2	6	○	○	○	○	○	○	聴力測定室は、幼児用と一般用が必要 教育相談センターと自立活動室の間に設置
	食堂	1	360	○	○	○	○	○	○	昼食用の食堂
	厨房	1	176	○						検収室、休憩室、更衣室含む。
	小計	32	1,769							
普通教室等	普通教室	30	1,008			○	○	○	○	
	小計	30	1,008							
特別教室等	物理実験室	1	42			○	○	○	○	
	生物実験室	1	42			○	○	○	○	
	化学実験室	1	42			○	○	○	○	
	理科準備室	1	18			○	○	○	○	
	管理室(生活デザイン科)	1	30	○						
	生活デザイン室	1	36					○	○	生活デザイン科の実習で使用
	生活訓練室	1	36					○	○	生活デザイン科の実習で使用
	福祉実習室	1	36					○	○	生活デザイン科の介護実習等で使用
	被服室	1	36					○	○	
	美術室	1	42				○	○	○	
	美術準備室	1	18	○						
	図工室	1	42			○				
	技術室	1	42				○			
	家庭科室	2	84				○			
	製図室	2	84					○	○	
	視聴覚室	1	120		○	○	○	○	○	
	視聴覚準備室	1	18	○						
	音楽室	1	42			○	○			
	音楽準備室	1	18	○						
	調理室	1	42			○	○	○		
	調理準備室	1	18	○						
	PC室	2	84			○	○	○	○	
	自立活動室	4	144		○	○	○	○		発語発話指導で使用
	リズム室(遊戯室)	1	72		○					幼児の室内運動等
	みんなの部屋(生活科室)	1	36			○				生活科の授業や小牛田校との交流活動等
	個別指導室	4	72		○	○	○	○	○	面接指導等で使用
	自習室	1	36					○		
	教材室	2	36	○						
	小学部英語教室	1	36			○				
	プレールーム	1	150		○					
	乳幼児用(個人指導室)	1	18	○						保護者向けの個別教育相談と個別指導で使用
	乳幼児用(プレールーム)1	1	80	○						保護者勉強会で使用
	乳幼児用(プレールーム)2	1	18	○						早期支援活動のイベント等で使用
	小計	43	1,670							

分類	室名	室数	面積(㎡)	利用する部門						備考
				管理	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	
その他 共用部分	生徒昇降口、来賓玄関		1,350	○	○	○	○	○	○	
	トイレ(生徒用・職員用・来賓用)・多目的トイレ			○	○	○	○	○	○	
	階段、廊下、フロア部分等			○	○	○	○	○	○	
	ボイラー室、発電機ポンプ室、燃料庫			○						
	技師倉庫、ゴミ置場、備蓄倉庫			○						
	小計		1,350							
	合計 ①	105	5,797							

【聴覚支援学校 工業技術科実習棟】

分類	室名	室数	面積(㎡)	利用する部門						備考
				管理	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	
工業技術科 実習棟	管理室(機械システム科)	1	30	○						
	機械システムⅠ室	1	30					○	○	
	機械システムⅡ室	1	30					○	○	
	機械システムⅢ室	1	30					○	○	
	情報処理室	1	30					○	○	
	切削加工Ⅰ室	1	60					○	○	
	切削加工Ⅱ室	1	60					○	○	
	工具管理室	1	40					○	○	
	溶接室	1	66					○	○	
	合計 ②	9	376							

【聴覚支援学校 車庫】

分類	室名	室数	面積(㎡)	利用する部門						備考
				管理	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	
車庫	車庫	1	36	○						
	合計 ③	1	36							

【聴覚支援学校 屋内運動場】

分類	室名	室数	面積(㎡)	利用する部門						備考
				管理	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	
屋内運動場	アリーナ	1	800		○	○	○	○	○	ステージ含む
	教官室	1	20	○						
	器具庫	1	30	○						
	トイレ	1	28	○	○	○	○	○	○	男子トイレ・女子トイレ・多目的トイレ
	合計 ④	1	878							

【聴覚支援学校 寄宿舎】

分類	室名	室数	面積(㎡)	利用する部門						備考
				管理	幼稚部	小学部	中学部	高等部	専攻科	
寄宿舎	舎室	16	360		○	○	○	○	○	1室4.5m×5m⇒22.5㎡で積算
	舎監室	1	20	○						
	当直室	3	60	○						
	浴室	2	78	○		○	○	○	○	
	洗濯乾燥室	2	90			○	○	○	○	
	職員室	1	60	○						
	保健静養室	1	15			○	○	○	○	
	和室	1	20			○	○	○	○	
	多目的室	1	70			○	○	○	○	
	談話室	2	120			○	○	○	○	
	茶道室	1	40			○	○	○	○	
	倉庫	2	45	○						
	ボイラー室	1	40	○						
	食堂	1	140	○		○	○	○	○	寄宿舎用の食堂
	倉庫	1	20	○						
	生活訓練室	1	70					○	○	1K(ワンルームマンションの間取り)
	廊下、玄関、トイレ		392	○	○	○	○	○	○	
	合計 ⑤	37	1,640							

改築 延べ面積合計 ①+②+③+④+⑤		153	8,727							
---------------------	--	-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

解体建物等一覧

【学校関係建物】

No.	名 称	構造	階数	建築年	面積(㎡)	備 考
①	校舎	RC	3	S40～46	7,568.00	
②	屋内運動場	S	2	S40	878.00	
③	寄宿舍	RC	2	S43	1,840.00	
④	産業工芸科実習棟	S	1	H2	437.00	
⑤	機械システム科実習棟	S	1	S60	476.00	
⑥	理容実習棟	S	1	H4	261.00	
⑦	給食調理室	RC	1	S41	187.00	
⑧	ボイラー室	RC	1	S47	119.00	
⑨	生活訓練棟	S	1	S54	73.00	
⑩	発電機ポンプ室	RC	1	S54	16.00	
⑪	車庫	S	1	S45	28.00	
⑫	燃料庫	CB	1	S58	8.00	
⑬	倉庫(体育用具庫)	CB	1	S40	17.00	
⑭	体育器具庫	S	1	S45	22.00	
⑮	貯蔵庫	RC	1	H2	5.00	
⑯	倉庫	S	1	H6	40.00	
⑰	倉庫	S	1	不明	4.00	
⑱	倉庫	S	1	不明	20.00	
計					11,999.00	

※既存建物の位置は別図3_既存建物等配置図を参照のこと。

【学校関係工作物】

名 称	構造	階数	建築年	面積(㎡)	備 考
受水槽	—	—	H5	—	
キュービクル	—	—	不明	—	
渡り廊下	—	—	不明	—	
既存フェンス	—	—	不明	—	敷地外周部

残置建物等一覧

【学校関係建物】

No.	名 称	構造	階数	建築年	面積(㎡)	備 考
1	プール附属棟	RC	1	R2	158.78	
2	物置	RC	1	R2	9.63	
計					168.41	

【学校関係工作物】

No.	名 称	構造	階数	建築年	面積(㎡)	備 考
1	プール	—	—	R2	—	

【学校関係その他】

No.	名 称	構造	階数	建築年	面積(㎡)	備 考
①	記念碑	—	—	不明	—	
②	胸像	—	—	S30	—	
③	ケヤキ(並木)	—	—	—	—	
④	樹木(しだれざくら)	—	—	—	—	
⑤	樹木(月桂樹)	—	—	—	—	

※残存物の位置は別図3_既存建物等配置図を参照のこと。

別図 1



委託場所：仙台市太白区八本松二丁目 7 - 2 9

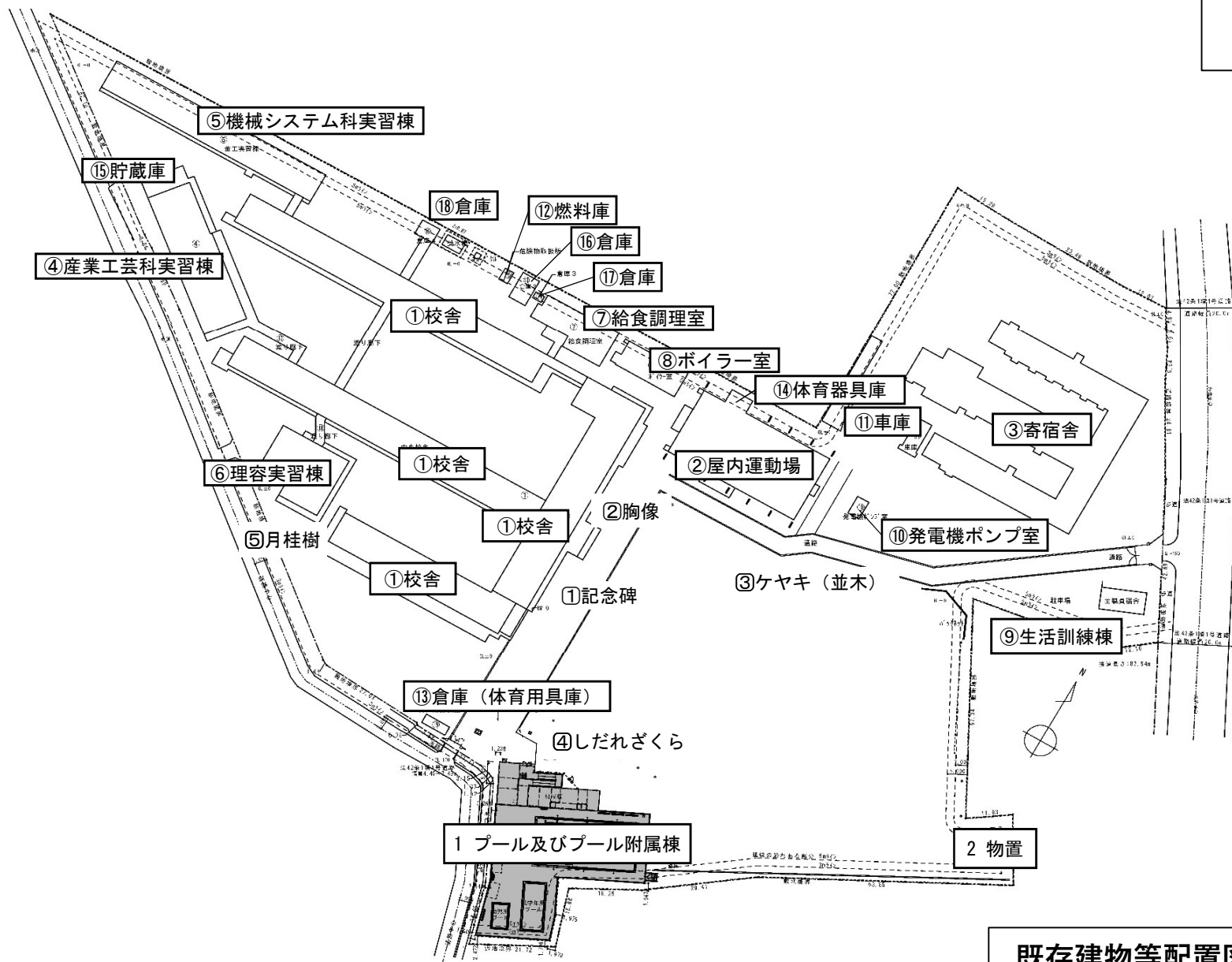
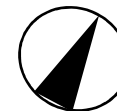


計画地位置図



※本整備計画図は別表 1 の事業スケジュールに併せて、計画位置を想定したもので、建物位置を条件提示しているものではありません。

別図 3



既存建物等配置図

宮城県立聴覚支援学校改築事業に係る基本計画

令和5年9月

宮城県教育庁施設整備課

宮城県教育庁特別支援教育課

目 次

I	基本計画の策定に当たって	1
1	目的	
2	県立特別支援学校教育環境整備計画の位置づけ	
II	聴覚支援学校について	1
1	聴覚支援学校の概要	
(1)	対象	
(2)	設置学部	
(3)	学級数	
(4)	在籍数	
(5)	定員	
(6)	通学区域	
(7)	通学方法	
(8)	寄宿舎	
2	学校経営	2
(1)	概要	
(2)	教育目標	
(3)	学校経営方針	
(4)	教育課程の編成方針	
(5)	教職員数	
3	施設整備の基本方針	4
(1)	各施設の基本条件	
(2)	具備すべき機能	
4	整備スケジュール（予定）	6
III	施設整備概要	6
1	整備概要	
(1)	予定地	
(2)	敷地面積	
(3)	敷地の状況	
(4)	整備内容	
(5)	想定施設配置図	
(6)	法的規制等	
2	構造計画	
(1)	耐震性能	
(2)	構造	

I 基本計画の策定に当たって

1 目的

宮城県立聴覚支援学校（以下「聴覚支援学校」という。）は、大正3年に宮城県立盲啞学校として開校し、現在の本校舎、屋内運動場及び寄宿舎は昭和40年から47年に竣工され、約50年にわたり利用されている施設であり、聴覚障害者を対象とした特別支援学校である。この度、校舎等の老朽化が著しいことから、生徒・教職員等の安全を確保するとともに、聴覚障害教育のセンター的機能を発揮し、ニーズに応じた早期支援・就学支援が行える施設とするため、本基本計画を定める。

2 県立特別支援学校教育環境整備計画の位置づけ

県教育委員会では、平成27年2月に「※1 宮城県特別支援教育将来構想」を策定し、「障害の有無によらず、全ての児童生徒の心豊かな生活と共生社会の実現を目指し、柔軟で連続性のある多様な学びの場の中で、一人一人の様々な教育的ニーズに応じた適切な教育を展開する。」との基本的な考え方のもと、特別支援教育を推進してきた。

この「将来構想」では、喫緊の課題の一つとして、県立知的障害特別支援学校の狭隘化を取り上げ、仙台圏域における特別支援学校の新設、分校等の設置及び高等学園の新設や収容定員の拡大に向け検討するとして、平成30年3月に「第2期県立特別支援学校教育環境整備計画」を策定し、県立特別支援学校の教育環境の整備を進めてきたところである。

その後、特別支援教育に関する国や社会の動向を踏まえ、令和5年3月にこの「※2 第2期整備計画」を見直し、改めて具体的な取組を示すとともに、校舎等の老朽化対策として、聴覚支援学校の校舎等改築を位置づけた。

《※1 添付1 宮城県特別支援教育将来構想（平成27年2月策定）》

《※2 添付2 第2期県立特別支援学校教育環境整備計画（改定版）（令和5年3月改定）》

II 聴覚支援学校について

1 聴覚支援学校の概要

（1）対象

聴覚障害のある幼児児童生徒が対象の特別支援学校である。

（両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの【学校教育法施行令第22条の3】）

（2）設置学部

現在、幼稚部・小学部・中学部・高等部（産業工芸科・機械システム科・被服科・理容科）・専攻科（産業工芸科・機械システム科・被服科・理容科）を設置しており、令和6年度より高等部及び専攻科では、普通科・専門学科（工業技術科・生活デザイン科（学科名は仮称））へ年次進行で学科改編予定である。

※専攻科は工業技術科・生活デザイン科

(3) 学級数（令和6年度学科改編の見込）

30学級程度（幼稚部6学級、小学部7学級、中学部4学級、高等部9学級、専攻科4学級）

(4) 在籍数

幼児児童生徒の推移を見ると、平成17年の在籍者数117人（幼稚部12人、小学部23人、中学部30人、高等部44人、専攻科8人）をピークに減少傾向にあり、令和5年度の在籍者数は73人（幼稚部14人、小学部23人、中学部16人、高等部18人、専攻科2人）である。

過去10年間は、70人から90人で推移しているため、今後もほぼ横ばいの在籍者数を推移する見込みである。

(5) 定員（令和6年度学科改編後の見込）

200人

（幼稚部30人、小学部42人、中学部24人、高等部72人、専攻科32人）

(6) 通学区域

宮城県全域を対象とする。

(7) 通学方法

児童生徒の実態に応じ、自力通学や保護者送迎とする。

(8) 寄宿舎

中・高等部及び専攻科の希望者を対象とし、「学校経営の方針に即し、社会自立に必要な基本的生活習慣を身に付け、集団生活を通して自主性や責任感、協調性を育み、児童生徒理解と指導・支援体制の充実を図る」ことを目標に運営している。

2 学校経営

(1) 概要

聴覚障害者を対象とした特別支援学校として学校教育を行うほか、聴覚障害教育の専門機関としてのセンター的機能を担っている。

乳幼児・保護者相談、養育相談、就学相談、補助具の相談等の聴覚障害教育の専門機関として支援活動を実施する。

(2) 教育目標

- ① 聴覚を最大限に活用できる力と、手話を含めた多様なコミュニケーション手段を相手や場に応じて使い分け活用できる言語力を育み、進んで自分を表現できる人間を育成する。
- ② 障害に基づく種々の困難を改善・克服し、たくましく生きる健全な心身と公正な判断力を持った人間に育てる。

- ③ 障害を正しく認識し、自己の主体性を確立し、周囲に積極的に働きかけながら粘り強く環境を切り開くことができ、また、相手の立場を理解・尊重し、奉仕の精神を持ち、人と協調してよりよい社会の実現を目指し努力する人間を育成する。

(3) 学校経営方針

- ① 常に教育的使命感と研究心を持って質の高い教育を目指し、聴覚障害教育の専門性を高めると共に、教育全般に関わる研修を推進する。
- ② 個々の障害の状態や発達段階及び幼児児童生徒のニーズに応じた教育の充実に向けて、各学部間の連携を密にし、教育の一貫性を図る。
- ③ 保護者や関係諸機関、学校近隣及び幼児児童生徒の居住する地域社会との連携を深め、開かれた学校づくりに努める。
- ④ 宮城県全域において、聴覚障害教育のセンター的機能の役割を果たすと共に、聴覚障害の理解啓発に努める。
- ⑤ 進路への興味関心を引き出す教育活動や情報提供に努め、進路指導の充実に努める。

(4) 教育課程の編成方針

- ① 幼稚部
幼稚部教育要領の趣旨を十分に踏まえ、生活全体をとおして各領域のねらいが総合的に達成されるよう考慮するとともに、入学から幼稚部修了までの長期的な視野をもって充実した生活が展開できるよう配慮して教育課程を編成する。
- ② 小学部、中学部、高等部、専攻科
小学部・中学部・高等部学習指導要領の趣旨を十分に踏まえ、児童生徒に生きる力を育むことを目指し、創意工夫を生かし特色ある教育活動を展開する中で自ら学び自ら考える力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実が図れるよう教育課程を編成する。

※ 令和6年度の高等部・専攻科の学科改編後の各学科目標（参考）

- ① 普通科
準ずる教育課程：基礎学力の向上を図り、個性を生かし社会人として多方面に進むことができる一般的な教養と社会の変化に対応できる生きる力や態度を育成する。
知的障害を併せ有する者の教育課程：社会生活に必要な基本的な知識や態度を身に付け、自ら考え、行動できる力と態度を育成する。
- ② 工業技術科（仮称）
各産業で必要となる機械・電気・デザインについて学習し、これらの知識・技術を基礎としたものづくりをとおして、社会に貢献できる人材を育成する。

③ 生活デザイン科（仮称）

ヒューマンサービス（福祉・保育）や生活産業（衣・食・住・情報）に求められる力を身に付け、生活・職業の両面で自立を目指す人材を育成する。

（５）教職員数

職種	算定数
校長	1
教頭	2
主幹教諭	3
教諭等	6 8
養護教諭	2
寄宿舎指導員	1 5
実習講師・実習助手	1 2
栄養教諭	1
事務職員	5
技師（庁務）	1
合 計	1 1 0

３ 施設整備の基本方針

（１）各施設の基本条件

① 校舎、体育館、寄宿舎

- イ 施設内は採光、通風、換気等に配慮し、幼児児童生徒や健康的に学校生活が送れるように配慮する。
- ロ 幼児児童生徒が活動する居室は冷暖房設備を完備する。その他、トイレ・更衣室は、暖房器具を設置することとする。
- ハ 校舎に障害者対応エレベータを１基以上完備する。
- ニ 体育館は暖房設備を完備する、また、補聴援助システムも完備する。
- ホ 寄宿舎と校舎、体育館の動線に配慮する。

② グラウンド等

- イ グラウンドは現状と同規模の２００ｍトラックを確保するとともに、整備面積は３，６００㎡以上とする。
- ロ グラウンドで利用できる補聴援助システムを完備する。
- ハ 遊具スペース（幼稚部、小学部）を整備する。

③ その他

- イ 敷地への出入口は、正門用、職員通用口用、実習機材搬入用、幼稚部送迎用の４箇所を設置し、いずれも車両が出入りできるように整備する。
- ロ 外周をフェンスで囲う（最大１，０００ｍを想定）。

(2) 具備すべき機能

① 施設の基本的な機能

イ 聴覚に障害がある幼児児童生徒の教育施設として、一人一人の教育的ニーズへ対応し、学習に専念できる学習環境、施設・設備を充実させること。

- ・ 重複障害と単一障害それぞれに適正な授業を行う必要があり、弾力的な学習活動のため、一時的に教室を分割できるようにすること。
- ・ 難聴のため、校外の騒音や他の教室等の音を遮断する防音性能に配慮すること。
- ・ 聞き取りにくいことで、学びにくさを生じさせないため、補聴援助システムを設置し、聴覚活用へ配慮すること。
- ・ 大学進学や就職など多種多様な進路を実現するための、聴覚障害に配慮した教育機器と特別教室や実習室環境を整備すること。

ロ 疾病や重複障害のある児童生徒の教育施設として、健康に配慮し、バリアフリー・ユニバーサルデザインを踏まえた建物であり、施設・設備を充実させること。

- ・ 各教室、廊下及びトイレ等に最新の蛍光表示管表示装置やサインランプ（表示灯）等の器機を設置し、聴覚障害へ配慮すること。
- ・ 車椅子の児童生徒などにとって利用しやすい多目的トイレ、スロープ及び手すり等の設置に配慮すること。
- ・ 移動や運動の困難さから運動不足になりがちな児童生徒が、安心して思い切り動くことができる広さや設備のある体育館を整備すること。

② 施設の専門的な機能

イ 聴覚障害のある幼児児童生徒や保育・教育機関、聴覚に障害のある利用者に対して、センター的機能を発揮し、専門機関としての支援を推進する施設・設備を充実させること。

- ・ カウンセリング室、教育相談センター、教育相談室、乳幼児用（個別指導室）は、プライバシーが守られや個々の相談内容に対応できるよう防音等に配慮すること。
- ・ 自立活動のため、プレイルーム、リズム室、校庭、中庭等の空間を整備すること。
- ・ 気導聴力検査、音場聴力検査、骨導聴力検査、幼児向けのC O R、遊戯聴力検査のため、聴力測定室及び聴力測定器等を教育相談センターと自立活動室の間に整備すること。
- ・ 教育相談センターに補聴器を適切に管理するため、補聴器調整室及び補聴器特性検査機等を整備すること。
- ・ 聴覚補助器具の保管、展示など一括管理ができる独立した空間を整備すること。
- ・ 多様なミーティングや研修会に対応できる多機能で間仕切り可能な会議室を整備すること。

ロ 聴覚障害による困難さを克服し、学びと社会自立を支援するための情報教育（ＩＣＴ）環境が充実していること。

- ・ 児童生徒の聞こえ方に応じた配慮が必要なため、ロジャー等のデジタル補聴援助システムの導入と各種補聴に係る電子器機の利用における安全性を考慮したコンセント等の設置に配慮すること。
- ・ 聴覚教材の活用を推進するため、教材作成用機器及び編集の設備を整備すること。

③ 幼児児童生徒等の健康と安全

イ 幼児児童生徒等が安心して学び、利用できる安全・防犯への対応や、大規模災害に対応できる耐震性や聴覚障害に配慮した避難施設としての機能があること。

- ・ 出入口、廊下、階段等に十分な広さや幅を確保し、安全に移動できること。
- ・ 不審者等の出入りを防止するよう校舎及び各室の配置を工夫すること。また防犯機器を設置すること。

④ 防災機能

イ 防災機能を確保した施設とすること。

- ・ 施設の耐震性や情報通信機能の確保等、防災機能に配慮すること。

⑤ 自然環境への配慮

イ 自然エネルギーを活用した施設

- ・ 自然エネルギーの活用を検討し、地球環境に配慮すること。

4 整備スケジュール（予定）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ○ 令和5年10月～令和6年3月 | プロポーザル方式による設計事業者選定 |
| ○ 令和6年7月～令和8年3月 | 基本設計・実施設計、測量、地質調査等 |
| ○ 令和8年12月～令和10年12月 | 校舎・寄宿舎建築工事 |
| ○ 令和11年4月～ | 校舎・寄宿舎供用開始 |
| ○ 令和11年6月～令和12年2月 | 既存校舎・寄宿舎解体工事 |
| ○ 令和12年6月～令和13年6月 | 屋内運動場建築工事 |
| ○ 令和12年7月～令和13年1月 | グラウンド整備工事 |
| ○ 令和13年2月～ | グラウンド供用開始 |
| ○ 令和13年7月～ | 屋内運動場供用開始 |
| ○ 令和13年7月～令和14年1月 | 既存屋内運動場解体工事 |

Ⅲ 施設整備概要

1 整備概要

（1）予定地

仙台市太白区八本松2丁目7-29 地内

（2）敷地面積

約27,936㎡（昭和24年取得・教育財産）

(3) 敷地の状況

周囲は住宅に囲まれており、敷地の北側には八本松市民センターが位置する。

(4) 整備内容

- | | |
|-----------|------------------------------|
| ① 建物 | 校舎及び附属棟、屋内運動場、寄宿舎 |
| ② 整備する諸室等 | 延べ面積計 8, 727 m ² |
| ③ 解体する建物等 | 延べ面積計 11, 978 m ² |

(5) 想定施設配置図 (改築後配置図を参照)

(6) 法的規制等

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| ・都市計画区域内 | 市街化区域 |
| ・用途地域 | 第二種住居地域、近隣商業地域 |
| ・容積率 | 200% (第二種住居地域)
300% (近隣商業地域) |
| ・建ぺい率 | 60% (第二種住居地域)
80% (近隣商業地域) |
| ・防火地域等 | 法22条区域 |
| ・上下水道、電気、都市ガス | |
| ・道路 | 市道20.0m |

2 構造計画

(1) 耐震性能

耐震安全性は、官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（平成25年3月）に基づき、配慮し検討する。

部位	分類	耐震安全性の目標
構造体	Ⅱ類	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られるものとする。
建築非構造部材	A類	大地震動後、災害応急対策活動等を円滑に行ううえ、又は危険物の管理のうえで支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られるものとする。
建築設備	乙型	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られていることを目標とする。

(2) 構造

構造は、安全性、機能性、快適性、経済性、耐久性に配慮する。



令和 5 年度

学 校 要 覧

宮 城 県 立 聴 覚 支 援 学 校

〒982-0001 仙台市太白区八本松二丁目7番29号

電 話 (022) 248-0648

FAX (022) 246-0446

E-mail miyaro-s@od.myswan.ed.jp

ホームページ <http://miyaro-s.myswan.ed.jp>

宮 城 県 立 聴 覚 支 援 学 校 小 牛 田 校

〒987-0005 遠田郡美里町北浦字船入1番地

電 話 (0229) 32-2110

FAX (0229) 32-3663

E-mail rkogota@od.myswan.ed.jp

ホームページ <http://rkogota.myswan.ed.jp>



telon Keller

◎ヘレン・ケラーの胸像 昭和30年7月

昭和23年2回目に来校したヘレン・ケラー女史の偉大さに感動した佐藤厚教諭は、児童・生徒に励みと希望をあたえるのはこれだと思い立ち、現職中の給与の一部を積み立てた基金を基に、女史の胸像を聾学校に残すことを計画したそうです。昭和30年3回目の来日を期に翁朝盛作の胸像を持参して、当時の根岸校長と共に在京中のヘレン・ケラー女史を訪ねました。胸像に触れた女史からは「少しうつむき加減ですね」との言葉があったという。そして女史から戴いた詞の日本語訳にサインをもらい建立することになったのです。児童・生徒が朝夕に接する位置にということで、旧木造校舎玄関前ロータリーの中央にあったのですが、校舎改築に伴い移転し現在は昇降口の脇で登下校の児童・生徒を見守っています。

寄 贈 …佐藤 厚（元宮城県立聾学校教諭 理容科担当）

胸 像 作 …翁朝盛

台座寄贈 …高橋嘉兵衛（高橋石材店）

詞訳（共著）…バートン・イー・マーチン

…伊田友作（東北大学教授）

詞 書 …根岸保衛（元宮城県立聾学校校長）

詞 …暗きに見る眼（くらきにみるまなこ）

音なきに聴く耳（おとなきにきくみみ）

我が魂の誇りぞ（わがたまのほこりぞ）

万象の静寂と真闇を超えて（ものみなとしじまとまやみをこえて）

目 次

<仙台校>

1	校地・校舎	1
2	沿革	1
3	職員構成	4
4	教職員名簿	5
5	教育の基本方針	8
6	教育課程	9
7	在籍一覧	15
8	日課時程表	15
9	学校運営機構図	16
10	舎務部運営計画	17
11	年間行事計画	18
12	各種調査	20
13	校舎配置図	22

<小牛田校>

1	校地・校舎	23
2	沿革	23
3	職員構成	24
4	職員別分掌一覧	25
5	教育の基本方針	26
6	在籍一覧	27
7	教育課程	28
8	日課時程表	28
9	学校経営組織図	29
10	主な学校行事	30
11	各種調査	30
12	校舎配置図	31
	校歌	32
	学校案内図	33

< 仙台校 >

1 校地・校舎

位 置	仙台市太白区八本松二丁目7番29号
校 地	27,936㎡（運動場6,614㎡）
校 舎	南校舎674㎡、東校舎2,072㎡、中校舎2,261㎡、北校舎2,425㎡、体育館878㎡、寄宿舎棟1,834㎡、 機械システム実習棟476㎡、産業工芸実習棟437㎡、理容実習棟・プレイルーム261㎡、倉庫163㎡、 プール1,240㎡（25m大プール、低学年プール、幼児用プール）、給食調理室130㎡、ボイラー室119㎡、車庫28㎡

2 沿 革

明治35.	10. 10	宮城県師範学校附属小学校内に聾生部を開設、授業を開始
	36. 5.	東六番丁教会に盲人日曜学校開設
	39. 3. 31	師範学校附属の聾生部を廃止
	4. 6	菅原通、杉山通り12番地に私立仙台聾人学堂を開設、授業を開始
	40. 4. 10	私立東北盲人学校開設（盲人日曜学校閉鎖）
	42. 3	私立仙台聾人学堂、北四番丁に新築移転
大正2.	11	「宮城県立盲聾学校設立の議」県議会で議決、外記丁（宮城師範学校内）に校舎新築の設計
	3. 4. 24	文部大臣の設立許可を受け宮城県立盲聾学校を設立（本校の創立）、宮城県盲聾学校学則制定
	5. 15	開校式及び入学式挙行（私立東北盲人学校及び私立仙台聾人学堂閉鎖）
	14. 9. 14	北七番丁に新校舎落成移転 / 10. 18 宮城県盲聾学校校章・校旗制定
昭和5.	7. 1	聾聾部同窓会設立 / 9. 4. 1 新一年生より口話教育実施 / 10. 8. 31 東九番丁に移転
	12. 3. 29	学則改正により、盲部及び聾部を置き、初等部、中等部に分ける
	4. 1	中等部を設置、聾部中等部に木工科、裁縫科を新設
	7. 1	ヘレン・ケラー女史来校、帽章・徽章制定
	13. 4. 1	聾部中等部に理髪科、洋裁科を新設 / 6. 18 阿部奨学会設立
	14. 9. 1	校歌制定 / 10. 5 創立二十五周年記念式典
	16. 1. 31	国民学校令施行に伴い学則改正
	18. 9. 30	本校舎増築並びに寄宿舎新築工事竣工 / 11. 9 阿部亀吉氏講堂建設寄付、採納
	19. 3. 1	中等学校令施行に伴い学則改正 / 4. 24 創立三十周年記念式典
	20. 7. 21～24	栗原郡宮野村能持寺に疎開、学寮開設 / 22. 5. 26 フラナガン神父来校
	23. 4. 1	学校教育法の制定により、盲及び聾教育の義務制施行 小学部・中学部・高等部専攻科の編成（宮城県立聾学校の誕生） 宮城県告示第224号により、宮城県立盲学校、宮城県立聾学校が独立
	23. 9. 11	ヘレン・ケラー女史二度目の来校
	24. 4. 10	仙台市長町鹿の又1の2に聾学校敷地1万坪設定 / 5. 7 創立三十五周年記念式典
	25. 4. 1	高等部に農業科を新設 / 4. 14 新校地に寄宿舎三棟竣工。中・高等部移転。
	25. 6. 18	校章制定（図案 教頭 佐藤実氏）
	26. 2. 28	新学則公布 / 7. 20 校舎（木造二階建）一棟竣工 / 7. 27 小学部新校舎に移転
	10. 6	高等部理容科が理容師養成施設として厚生大臣より指定
	27. 4. 18	校舎（木造二階建）一棟竣工 / 7. 25 PTA機関誌「太鼓」創刊
	28. 4. 15	校舎（木造二階建）一棟及び実習室竣工 / 4. 25 立太子記念事業として図書館開設
	29. 4. 28	寄宿舎及び鶏舎・豚舎竣工 / 10. 9 創立四十周年記念式典、校旗制定
	30. 7. 20	校舎（木造二階建）一棟竣工 / 7. 21 ヘレン・ケラー胸像建立（寄贈 教諭 佐藤厚氏）
	32. 3. 28	遠田郡小牛田町に宮城県立聾学校小牛田分校設置 / 4. 18 同校開校式
	33. 7	中学部が仙台市中学校体育大会に初参加 / 11. 29 聾教育八十周年記念式典
	34. 4. 1	小学部に重複障害児学級を設置 / 35. 6. 1 職業科教室兼リズム訓練室移築竣工
	36. 4. 1	高等部に塗装科を新設
	37. 3. 30	宮城県立聾学校小牛田分校閉校 / 4. 1 宮城県立小牛田聾学校開校
	4. 1	幼稚部設置 / 6. 15 塗装実習室竣工
	38. 11. 13	木工実習室竣工

39. 3. 31 被服室竣、高等部の農業科を廃止、就学区変更により小学部児童58名小牛田聾学校へ移籍
7. 1 少年消防クラブ（寄宿舎）総理大臣表彰を受賞
40. 2. 15 体育館竣工
3. 5 創立五十周年記念式典・体育館落成記念行事、校歌制定（作詞・根岸保衛 作曲・海鉾義美）
3. 31 校地の一部を仙台市に割譲（道路拡巾のため）、理容・洋裁実習室（木造二階建）一棟竣工
6 高等部、宮城県高校総体に初参加 / 7. 2 幼稚園校舎（木造平屋建）一棟竣工
41. 2. 21 給食室（鉄筋）竣工 / 43. 1. 23 寄宿舎（鉄筋二階建）女子寮竣工
44. 4. 9 寄宿舎（鉄筋二階建）男子寮竣工
45. 1. 9 スクールバス「こぼと」運行開始 / 4. 1 幼稚部に三歳児学級設置
46. 11. 16～18 第5回全日本聾教育研究大会宮城大会開催
47. 3 洋裁科を被服科（婦人子供服課程・紳士服課程）と改編 / 3. 25 新校舎竣工（鉄筋二階建）
48. 4. 1 塗装科を金属工業科、工芸科を産業工芸科と改編
5. 30 自治体消防制定発足25周年記念県知事賞を受賞 / 8. 8 プール二基竣工
49. 4. 18 新校舎竣工（鉄筋三階建・東校舎） / 8. 14 新校舎竣工（鉄筋三階建・中校舎）
10. 8 創立六十周年記念式典、同窓会より学校庭園を寄贈、50. 12. 8 校木（ケヤキ）制定
51. 6. 23 幼稚部、仙台市立〆木保育所と交流保育開始 / 7. 27 小学部、仙小4区水泳大会初参加
52. 10. 7 小学部、仙台市小学校体育大会に初参加
53. 6. 20 新校舎竣工（鉄筋三階建）一棟竣工（北校舎） / 12. 9 新校舎落成記念式典
54. 4. 1 乳幼児教室を開設 / 9. 29～30 第16回全国聾学校体育大会を開催
55. 4. 1 学則一部改正により、専攻科が高等部から分離、高等部に重複学級を設置
56. 4. 1 学校名を「宮城県立聾学校」から「宮城県立ろう学校」に改称
57. 7. 10～11 第20回東北地区聾学校体育大会を開催 / 58. 10. 30 寄宿舎に茶道クラブが発足
59. 7. 2 小学部が高屋小学校との交流学习を開始
10. 26 文部省指定特殊教育実験学校公開研究会開催 / 11. 16 創立七十周年記念式典
60. 3. 25 金属工業科実習棟第一期竣工
61. 7. 4 第2回東聾PTA連合会研修大会開催 / 3. 20 乳幼児教室改装完了（寄宿舎男子棟1階）
63. 3. 31 宮城県立小牛田ろう学校開校 / 4. 1 宮城県立ろう学校小牛田分校開校
- 平成元. 3. 31 パーソナルコンピューター導入 / 11. 中学部が聖ウルスラ中学校と交流学习を開始
2. 10. 18 第24回全日本聾教育研究大会宮城大会開催 / 11. 21 産業工芸科実習棟竣工
4. 3. 16 理容実習棟・プレイルーム竣工 / 11. 13 南校舎、体育館、給食調理室竣工
5. 10. 26 大規模改造工事（東校舎、ボイラー室）竣工
6. 1. 29 ガス溶接技能教習機関指定業務規定認可 / 4. 1 被服科の婦人服課程と紳士服課程を統合
7. 1～2 第9回東北地区聾学校PTA連合会研修大会開催
9. 29～30 全国聾学校職業教育研究会総会第9回機械部会研究会宮城大会開催
10. 24 大規模改造工事（中校舎）竣工 / 10. 29 創立八十周年記念式典
7. 3. 15 体育館暖房設置工事竣工 / 7. 19 寄宿舎改造工事着工
7. 21 金属工業科を機械システム科へ学科改編認可 / 10. 12 大規模改造工事（北校舎）竣工
8. 1. 19 寄宿舎第一期工事（男子寮）竣工 / 4. 10 機械システム科高等部専攻科第一学年入学
8. 26 集団補聴設備設置工事（小中学部15教室）竣工
10. 23～24 第39回全国聾学校理容科・美容科研究大会宮城大会開催
11. 22 機械システム科実習棟改修工事竣工 / 12. 1 インターネット開始
12. 11 寄宿舎大規模改造工事（管理棟、女子寮）竣工 / 12. 19 寄宿舎改造工事竣工
10. 10. 4 第35回全国聾学校陸上競技大会高等部男子総合優勝
11. 6. 25 第28回東北地区聾学校卓球大会開催 / 9. 8 給食配膳室増築
9. 27 手話校歌制定 / 11. 18 父母教師会文部大臣表彰
12. 2. 29 体育館雨どい改修工事竣工 / 7. 19 プール底板改修工事竣工
10. 7 第37回全国聾学校陸上競技大会高等部男子総合優勝
11. 7 第38回宮城県中学校弁論大会最優秀賞受賞

13. 4. 1 通級指導教室開設 / 10. 7 第38回全国聾学校陸上競技大会高等部女子総合準優勝
10. 27～29 第1回全国障害者スポーツ大会参加
14. 1. 28 聴力検査室改修工事竣工 / 4. 1 学校評議員設置 / 11. 25 管理棟等耐震補強工事竣工
15. 12. 9 北校舎耐震補強工事竣工 / 8. 19～23 第30回全日本中学校陸上競技大会に参加
11. 11 第41回宮城県中学校弁論大会優秀賞を受賞
16. 6. 27～28 東北地区聾学校体育大会（陸上：第31回、卓球：第33回）開催
10. 3 第41回全国聾学校陸上競技大会高等部男子総合優勝 / 11. 9 中校舎耐震補強工事竣工
17. 1. 23～26 インターハイ・スピードスケートショートトラック競技参加
2. 4 文部科学省特殊教育研究協力校指定にかかわる公開研究会の開催
6. 9～7. 21 日米教育委員会日本フルブライトメモリアル基金 マスターティーチャープログラムにより
米国オークパークスクールよりアンジェラ・ジーン・クラフト教諭が来校し共同学習を実施
10. 9 第42回全国聾学校陸上競技大会高等部男子総合優勝（2年連続）
10. 27 体育館、南校舎、寄宿舎耐震補強工事竣工
10. 31 第28回全国障害者技能競技大会家具部門銅賞受賞
18. 1. 21～23 インターハイ・スピードスケートショートトラック競技参加
1. 27～29 国民体育大会冬季大会（スピードスケートショートトラック競技）参加
2. 2 仙台市スポーツ大賞奨励賞受賞（団体の部：高等部陸上部） / 2. 6 生活体験棟開所
6. 19～7. 14 日米教育委員会日本フルブライトメモリアル基金 マスターティーチャープログラムにより
米国イリノイ聾学校よりシェリー・リン・ハンフリーズ教諭が来校し共同学習を実施
9. 8～9 第20回東北地区PTA連合会研修大会宮城大会を開催
10. 1 第43回全国聾学校陸上競技大会高等部男子総合優勝（3年連続）
10. 29 第28回全国障害者技能競技大会家具部門銅賞受賞（2年連続）
11. 2～4 第43回全国聾学校卓球大会IN MIYAGIを開催
19. 2. 6 仙台市スポーツ大賞奨励賞受賞（団体の部：高等部陸上部）
11. 15 第7回国際アビリンピック「家具製作（応用）」銀メダル獲得
20. 9. 23～28 第1回世界ろう者陸上競技選手権大会 女子やり投げ優勝（ろう者世界記録）
21. 3 小規模改修工事昇降機（エレベーター）工事竣工、グラウンド整備工事竣工
4. 1 県立学校条例の改正により、「宮城県立ろう学校」から「宮城県立聴覚支援学校」に改称
6. 27～28 平成21年度東北地区聾学校卓球大会宮城大会を開催
22. 1. 20～22 第59回全国高等学校総合体育大会（スピードスケート競技）参加
23. 3 幼稚部前庭・中庭・寄宿舎前庭 遊具工事竣工
3. 11 東日本大震災発生 M9.0 以後授業打ち切り、卒業・修了式の中止
3. 31 スクールバス「宝くじ号」宝くじ普及協会より寄贈 / 4. 1 運行開始
9. 6 宮城県高等学校陸上競技新人大会（男子円盤投げ）優勝
24. 6. 25 幼稚部と東北福祉大学学生ボランティアとの交流開始
24. 7. 7～8 第26回東北地区PTA連合会研修大会宮城大会を開催 / 7. 29～10. 30 災害復旧工事
25. 10. 22～23 東北特別支援教育研究大会宮城大会聴覚障害・授業づくり分科会を主催
26. 2. 7 幼稚部と仙台市立メ木保育所との交流終了 / 9. 24 コスモスメ木保育園との交流開始
26. 10. 25 創立100周年記念行事（記念式典、記念祝賀会）
10. 30～31 全国理美容科研究協議会（宮城大会） / 11. 27～28 東北聾教育研究大会（宮城大会）
27. 2. 6 小学部と亘理町立高屋小学校との交流終了（教育課程の見直し）
28. 7. 8～9 第37回東北地区聾学校体育大会宮城大会開催
30. 10. 25 第27回河北工芸展「教育委員会賞」を受賞
11. 15～16 第36回東北特研会宮城大会を開催
- 令和元. 10. 25 第28回河北工芸展「宮城県知事賞」を受賞
11. 15～17 第56回全国聾学校卓球大会高等部男子団体優勝
- 令和2. 3. 25 新プール完成 / 7. 21 全教室等エアコン設置完成（小牛田校含む）
- 令和4. 11. 18 東北聾教育研究大会（宮城大会）

3 職員構成

職名	校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	実習講師	実習助手	寄宿舎指導員	常勤講師	非常勤講師	実習助手（臨時）	寄宿舎指導員（臨時）	事務室長	事務職員	栄養教諭	技師（庁務）	小計	事務職員・庁務職員（臨時）	会計年度任用事務補助職員	会計年度任用給食職員	学校医	薬剤師	小計	合計
男	1	2	2	26	0	5	1	3	1	0	0	1	1	2	0	1	46	2	0	0	2	0	4	50
女	0	0	1	38	2	3	1	10	3	0	2	1	0	2	1	0	64	1	1	7	2	1	12	76
計	1	2	3	64	2	8	2	13	4	0	2	2	1	4	1	1	110	3	1	7	4	1	16	126

歴代校長

歴 代	氏 名	任 免 年 月 日		在 職 期 間	備 考(前歴)
		自	至		
専任初代 二 代 三 代 四 代 五 代 六 代 七 代 八 代 九 代 十 代 十一代 十二代 十三代 十四代 十五代 十六代 十七代 十八代 十九代 二十代 二十一代 二十二代 二十三代 二十四代 二十五代	樋 泉 慶次郎	大正 3. 4. 28	大正 6. 6. 28	3. 2	宮城県師範学校校長兼校長事務取扱
	児 崎 為 槌	6. 6. 28	8. 11. 19	2. 5	〃 〃
	柴 垣 則 義	8. 11. 19	12. 3. 31	3. 4	〃 〃
	四 竈 仁 邇	12. 3. 31	13. 3. 31	1. 1	宮城県師範学校訓導兼書記 並校長事務取扱
	四 竈 仁 邇	13. 4. 1	昭和 8. 9. 30	1 0. 6	初代専任校長
	赤 木 将 為	昭和 8. 9. 30	27. 5. 31	1 8. 6	宮城県視学
	根 岸 保 衛	27. 6. 1	37. 3. 31	9. 1 0	栃木県立聾学校校長
	菅 原 敬	37. 4. 1	43. 3. 31	6. 0	宮城県立盲学校教頭
	班 目 勝 郎	43. 4. 1	46. 3. 31	3. 0	塩竈市立玉川中学校校長
	小 野 禎 一	46. 4. 1	50. 3. 31	4. 0	宮城県古川女子高等学校長
	近 江 義 正 夫	50. 4. 1	54. 3. 31	4. 0	宮城県立船岡養護学校校長
	和 泉 常 夫	54. 4. 1	57. 3. 31	3. 0	宮城県仙台青年の家所長
	菅 野 聡	57. 4. 1	59. 3. 31	2. 0	宮城県教育研修センター副所長
	大 床 常 治	59. 4. 1	62. 3. 31	3. 0	宮城県立船岡養護学校校長
	福 地 俊 明	62. 4. 1	平成元 3. 31	2. 0	宮城県立西多賀養護学校校長
	佐々木 一 洋	平成元 4. 1	5. 3. 31	4. 0	宮城県立小牛田高等養護学校校長
	佐 藤 勉	5. 4. 1	8. 3. 31	3. 0	宮城県特殊教育センター所長
	北 岡 侃	8. 4. 1	10. 3. 31	2. 0	宮城県立船岡養護学校校長
	平 間 康 弘	10. 4. 1	13. 3. 31	3. 0	宮城県立角田養護学校校長
	浅 野 勝 彦	13. 4. 1	16. 3. 31	3. 0	宮城県立拓桃養護学校校長
	高 橋 八 義	16. 4. 1	18. 3. 31	2. 0	利府町立利府小学校校長
	曾 根 宏	18. 4. 1	20. 3. 31	2. 0	宮城県立利府養護学校校長
	江 戸 寿 紀	20. 4. 1	22. 3. 31	2. 0	宮城県立養護学校岩沼高等学園校長
	勝 倉 成 紀	22. 4. 1	25. 3. 31	3. 0	宮城県立石巻支援学校校長
	菊 池 矢恵子	25. 4. 1	27. 3. 31	2. 0	宮城県立角田支援学校白石校副校長
	鳩 原 潤	27. 4. 1	30. 3. 31	3. 0	宮城県総合教育センター次長
	三 浦 康 宏	30. 4. 1	令和 3. 3. 31	3. 0	宮城県立利府支援学校富谷校副校長
	樋 口 美 穂	令和 3. 4. 1	5. 3. 31	2. 0	宮城県立山元支援学校校長
	佐 藤 功 一	5. 4. 1			宮城県教育庁特別支援教育課長補佐

5 教育の基本方針

5・1 教育目標

- (1) 確かな日本語力を目指した言語指導の充実
- (2) 基礎・基本の定着を目指した学習指導の充実
- (3) 自己実現を支援する進路指導の充実

【目指すこども像】	
(1) 「豊かに正しく表現する子」	聴覚を最大限に活用できる力と、手話を含めた多様なコミュニケーション手段を相手や場に応じて使い分け活用できる言語力をはぐくみ、進んで自分を表現できる人間を育成する。
(2) 「元気な体と大きな心を持つ子」	障害に基づく種々の困難を改善・克服し、たくましく生きる健全な心身と公正な判断力を持った人間に育てる。
(3) 「積極的に取り組み、みんなと協調する子」	障害を正しく認識し、自己の主体性を確立し、周囲に積極的に働きかけながら粘り強く環境を切り開くことができ、また、相手の立場を理解・尊重し、奉仕の精神を持ち、人と協調してよりよい社会の実現を目指し努力する人間を育成する。

5・2 各部の教育具体目標

	豊かに正しく表現する子	元気な体と大きな心を持つ子	積極的に取り組み、みんなと協調する子
幼稚園部	- 人とのふれ合いをとおして伝え合う喜びを味わう。 - 自分の経験したことや感じたことをことばで表現し、相手に伝える。 - 日常生活に必要なことばを身に付ける。	- 進んで体を動かし、元気に遊ぶ。 - 良いことと悪いことがわかる。	- 話し手を見て、聴覚やその他の感覚を十分に使いながら聞く。 - 自分のことは自分でする。 - 様々な事象に興味や関心を持ち、身近な環境や自然などに進んでかかわる。 - 友達と仲良く遊ぶ。 - 日常生活の約束や決まりを守る。 - 相手の気持ちを考えることができる。
小学部	- 相手に分かるような方法で進んで自分の考えや気持ちを伝える。 - 学習に必要な言語や基本的な語いを身に付け、生活の中で生かす。 - 学習の仕方が分かり、楽しく学習する。	- 健康に気をつけ、進んで運動し、体力を高める。 - よく考え、良いこと悪いことの判断をして行動する。	- 様々な体験を通して自分の興味・関心を広げる。 - 自分の障害を認識し、自信を持って行動する。 - 公衆道徳やマナーが分かり、守る。 - 相手の気持ちを考えて行動し、友達と仲良くする。
中学部	- 目標を持ち、自主的・計画的に学習する。 - 学習や生活に必要な言葉を身に付け、積極的に活用する。 - 場に応じてコミュニケーション手段を選択し、お互いの理解を深めようと努力する。	- 心身を鍛え、たくましく成長する。 - 自ら考え、正しく判断し行動する。	- 障害を正しく理解し、より良い生活をしようと努力する。 - 何事にも進んで取り組む。 - 集団生活を通して、社会性を身に付ける。 - 相手の立場を考え、思いやりのある行動ができる。
高等部	- 多様なコミュニケーション手段を身に付け、場に応じて使い分ける。 - 高校生としての自覚と誇りを持ち、基礎的、基本的な知識や技能を習得し、創造的な思考力を持ち、主体的に学習する。	豊かに生きるための知識・技能を身に付け、健康の維持・体力の向上に努める。	- 自分の目標を決め、達成できるように取り組む。 - 自己の障害を正しく認識し、自己を確立する。 - 進路への関心を深め、卒業後の進路を明確に考え、計画的に生活する。 - 職業についての基礎的知識や技術を身に付け、望ましい職業観・勤労観をもつ。 - 集団生活の中で、学校や社会の決まりをおさえ、正しく行動する。 - 社会の一員として、他と協力して豊かな社会生活を築く意欲と態度を身に付ける。
専攻科	- 読書などを通して書記言語を積極的に活用する。 - 専門分野における知識や技能を伸ばす。	- 健全な判断力と円満な人格を養い、より豊かな社会生活が営める力をつける。 - 就労に必要な体力の向上に努め、積極的に健康管理を行う。	- 自己の障害を認識し、個に応じた将来の進路を決定する。 - 社会常識を学び、現代の社会に適応できる能力と態度を身につける。 - 地域社会や職場におけるルールを知ることによって社会人として周りや協調する態度を身につける。

5・3 経営方針

- (1) 常に教育的使命感と研究心を持って質の高い教育を目指し、聴覚障害教育の専門性を高めると共に、教育全般に関わる研修を推進する。
- (2) 個々の障害の状態や発達段階及び幼児児童生徒のニーズに応じた教育の充実に向けて、各学部間の連携を密にし、教育の一貫性を図る。
- (3) 保護者や関係諸機関、学校近隣及び幼児児童生徒の居住する地域社会との連携を深め、開かれた学校づくりに努める。
- (4) 宮城県全域において、聴覚障害教育のセンター的機能の役割を果たすと共に、聴覚障害の理解啓発に努める。
- (5) 進路への興味関心を引き出す教育活動や情報提供に努め、進路指導の充実を図る。

5・4 今年度の重点目標

<学習指導>

- ① 多様なコミュニケーション手段が活用できるよう教育環境を整備し、日本語力向上を図るための言語指導を推進する。
- ② 個別的教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、基礎学力の定着・伸長を目指した確かな指導を、家庭との連携のもと進める。

<生活・進路指導>

- ③ 保護者との情報の共有に努め、外部専門家とも連携しながら心と体の健康作りを推進する。
- ④ 志教育の視点に立ち、児童生徒・保護者の就労意識を高めるなど、年齢や発達段階に応じたキャリア教育を充実させる。

<学校運営>

- ⑤ 聴覚障害教育に係る専門性の向上と指導力の向上を目指し、研修を充実させる。
- ⑥ 安全安心な学びが実現できるよう、感染症対策を徹底すると共に、職員一人一人の危機管理の意識を高め、組織的な対応を進める。
- ⑦ 新学習指導要領を踏まえた教育計画の実施及び高専部新学科開設に向けた準備を計画的に進める。
- ⑧ 聴覚障害教育のセンター的機能を発揮しながら、幼児児童生徒及び保護者のニーズに応じた早期支援・就学支援を充実させる。

6 教育課程

6・1 教育課程編成の方針

法令及び特別支援学校幼稚部教育要領、特別支援学校小学部・中学部・高等部学習指導要領に基づき、幼児児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、その障害（聴覚障害等）の状態及び発達段階や特性等並びに地域や学校の実態を十分に考慮して、適切な教育課程を編成する。

具体的には、幼稚部においては幼稚部教育要領の趣旨を十分に踏まえ、生活の全体をとおして各領域のねらいが総合的に達成されるよう考慮するとともに、入学から幼稚部修了までの長期的な視野をもって充実した生活が展開できるよう配慮して教育課程を編成する。

また、小学部、中学部、高等部、専攻科においては、小学部・中学部・高等部学習指導要領の趣旨を十分に踏まえ、児童生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かし特色ある教育活動を展開する中で自ら学び自ら考える力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実が図れるよう教育課程を編成する。

指導計画の作成に当たっては、各教科・科目及び各学部、各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導を目指すとともに、各教科・科目の指導内容のまとめ方や重点の置き方に適切な工夫を加えながら、教材等の精選を行い、効果的な指導ができるようにする。また、障害の状態及び発達段階や特性等を踏まえ、学習の素地となる言語力の育成や生活経験の拡充を考慮する。

6・2 編成区分と教育内容

編 成		修業年限	入 学 資 格	教 育 内 容
幼 稚 部		3	学校教育法施行令第22条の3で規定する3歳から5歳までの聴覚障害幼児	特別支援学校幼稚部教育要領による健康、人間関係、環境、言葉、表現、自立活動
小 学 部		6	学校教育法施行令第22条の3で規定する6歳以上の学齢聴覚障害児童	特別支援学校小学部・中学部学習指導要領による国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、特別の教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動
中 学 部		3	学校教育法施行令第22条の3で規定する小学校や特別支援学校小学部を卒業した学齢聴覚障害生徒	特別支援学校小学部・中学部学習指導要領による国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語、特別の教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、自立活動
高 等 部	産業工芸科	3	学校教育法施行令第22条の3で規定する聴覚障害があり中等学校や特別支援学校中学部を卒業した者又は卒業見込みの者	特別支援学校高等部学習指導要領による国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報、職業専門科目、特別活動、総合的な学習の時間（高1のみ）、総合的な学習の時間（各職業科課題研究）、自立活動、学校設定科目・教科（手話コミュニケーション）
	機械システム科			
	被 服 科			
	理 容 科			
専 攻 科	産業工芸科	2	学校教育法施行令第22条の3で規定する聴覚障害があり高等学校、若しくは中等教育学校高等部や特別支援学校高等部を卒業した者又は卒業見込みの者	高等部に続く職業専門科目、学校設定科目・教科（一般教養国語、総合社会、生活と数学、日常英語、健康とスポーツ）、自立活動
	機械システム科			
	被 服 科			
	理 容 科			

6・3 各部別教育課程

6・3・1 幼稚園

学 年	教 育 内 容	週 時 数
1 年（3 歳児）	健康（心身の健康） 人間関係（人とのかかわり） 環境（身近な環境とのかかわり） 言葉（言葉の獲得） 表現（感性と表現） 自立活動（障害に基づく困難の改善と克服）	20
2 年（4 歳児）		
3 年（5 歳児）		

6・3・2 小学部（年間時数）

学 年	教 科										特別の教科 道徳	外国語活動	総合的な学習 の時間	特別活動 （学級活動）	自立活動	合 計
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画 工作	家庭	体育	外国語						
1 年	306		136		68	34	68		102		34			34	68	850
2 年	315		175		70	35	70		105		35			35	70	910
3 年	245	70	175	90		35	60		105		35	35	25	35	70	980
4 年	245	90	175	105		35	60		105		35	35	25	35	70	1015
5 年	175	100	175	105		35	50	45	90	70	35		30	35	70	1015
6 年	175	105	175	105		35	50	45	90	70	35		25	35	70	1015

小学部…重複障害学級Ⅰ類（年間時数）

学 年	教 科						日常生活 の指導	生活単元 学習	自立活動	合 計
	国語	算数	音楽	図画 工作	体育					
（2 年 2 組）	175	175	35	70	105		175	70	105	910
（6 年 2 組）	175	175	35	70	105		175	175	105	1015

6・3・3 中学部（年間時数）

学 年	教 科										特別の教科 道徳	特別活動 （学活）	自立活動	総合的な学習 の時間	合 計
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	体育	保健	家庭	技術	外国語				
1 年	140	105	140	105	35	35	105	70	140		35	35	70	35	1050
2 年	140	105	105	140	35	35	105	70	140		35	35	70	35	1050
3 年	105	140	140	140	35	35	105	35	140		35	35	70	35	1050

中学部…重複障害学級（年間時数）

区分型	教 科				日常生活の 指導	日常生活の 学習	生活単元 学習	作業学習	自立活動	総合的な学習 の時間	合 計
	国語	数学	音楽	体育 保健							
A 型	70	70	35	105	350	140	140	105	35		1050

中学部…重複障害学級（年間時数）※個別の指導計画に基づく教科

区分型	教 科					日常生活の 指導	日常生活の 学習	作業学習	自立活動	総合的な学習 の時間	合 計
	国語	数学	音楽	体育 保健	※						
B 型	70	70	35	105	140	210	140	140	105	35	1050

6・3・4 2021(令和3)年度入学生用 高等部・専攻科教育課程表 (共通教科)

*1 単位数が()で表記されているものが選択科目。

宮城県立聴覚支援学校

教科	科目	標準 単位 数	高 等 部									専 攻 科			備 考	
			1 年			2 年			3 年			1 年		2 年	選択科目について（理容科はⅡ型のみ） Ⅰ 型：高2年4単位、高3年8単位 Ⅱ 型：高2年なし、高3年2単位 * 高3理容科は専門科目が2単位多いため、選択科目はなしとする	
			Ⅰ Ⅱ 型	Ⅲ 型	Ⅰ Ⅱ 型	Ⅲ 型	Ⅰ Ⅱ 型	Ⅲ 型	Ⅰ Ⅱ 型	Ⅲ 型	理容科	他学科				
国語	国語総合	4	4													
	国語表現	3			4	4										
	現代文A	2						2	3							
	古典A	2			(2)			(2)	(2)							
	一般教養国語										2	2	2			
地理・歴史	世界史A	2	2					(2)								
	世界史B	4						(4)								
	日本史A	2			2	2		(2)								
	日本史B	4						(4)								
	地理A	2						(2)	(2)							
	地理B	4						(4)								
公民	現代社会	2						2	2							
	倫理	2						(2)								
	政治・経済	2						(2)	(2)							
	総合社会										2	2	2			
数学	数学Ⅰ	3	3													
	数学Ⅱ	4			(2)(4)			(2)							高2年、高3年で分割履修、又は2年次で4単位履修	
	数学A	2			2	2			(2)							
	数学B	2						(2)							理系進学希望者は履修が望ましい	
	数学活用	2							2							
	生活と数学										1	2	1			
理科	科学と人間生活	2	2						(2)							
	物理基礎(産機)	2			3(2)	3		(2)							産工・機シ科：2年(3単位)必修、3年選択(2単位) *Ⅰ 型被服科：2年(2単位)、2年次選択者は3年次の増単(同一科目選択不可)、 3年(2単位)で選択可	
	物理	4						(4)							物理基礎履修済者のみ、選択可	
	化学基礎(理)	2			(2)	3		(2)							理容科：2年(3単位)必修 *Ⅰ 型産工・機シ・被服、2年(2単位)、2年次選択者は3年次の増単(同一科目 選択不可)3年(2単位)で選択可	
	化学	4						(4)							化学基礎履修済者のみ、選択可	
	生物基礎(被)	2			3(2)	3		(2)							被服科：2年(3単位)必修、3年選択(2単位) *Ⅰ 型産工・機シ科：2年(2単位)、2年次選択者は3年次の増単(同一科目選択 不可)3年(2単位)で選択可能	
	生物	4						(4)							生物基礎履修済者のみ、選択可	
	地学基礎	2						(2)								
	理科課題研究	1						(2)							他の基礎科目を履修した後に、選択可	
保健体育	体育	7～8	3		3	3		2	3							
	保健	2	1		1	1										
	健康とスポーツ										1	2	2			
芸術	美術Ⅰ	2	2		1	1										
	美術Ⅱ	2						(2)	(2)							
外国語	コミュニケーション 英語Ⅰ	3	2		2	2			1						Ⅰ 型 高1・2年：分割履修 Ⅱ 型 高1～3年：分割履修	
	コミュニケーション 英語Ⅱ	4						4								
	英語表現Ⅰ	2			(2)			(2)	(2)							
	英語会話	2							(2)							
	日常英語										1	2	1			
家庭	家庭総合	4	2		2	2									高1・2年分割履修	
情報	社会と情報	2													専門教科「情報」科目で読替	
コミュニ ケーション	手話コミュニケー ション		1												(学校設定教科)	
保健体育	－			3			3			3						
音楽	－			1			1			1						
教科等を 統合	日常生活の指導			8			8			8						
	生活単元学習			4			4			4						
	作業学習			4			4			4						
総合的な探究の時間		3		1			1			1					Ⅰ・Ⅱ型は、専門科目「課題研究」で読替	
自立活動		1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	1			
LHR・特別活動		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
必修科目等 計		24			22	22		12	13		9	12	10			
選択科目等 計		0			4	0		8	2/0		0	0	0		高3Ⅱ型：理容科は選択科目なし	
共通教科等 計		24			26	22		20	15/13		9	12	10		高3Ⅱ型：理容科は13単位	
Ⅲ型教科等 計				24			24			24						

教科	科目	標準 単位 数	高等部									専攻科			備考
			1年		2年			3年			1年		2年		
			I Ⅱ型	Ⅲ型	I Ⅱ型	Ⅲ型	I Ⅱ型	Ⅲ型	I Ⅱ型	Ⅲ型	理容科	他学科			
各学科専門科目		25	6	6	4	8	6	10	15/17	6	21	18	20	高3Ⅱ型:理容科は17単位	
全教科計			30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30		

2021(令和3)年度入学生用 高等部・専攻科 教育課程表（専門教科）

産業工芸科（Ⅰ～Ⅲ型）

建築工学科(Ⅰ～Ⅲ型)													
教科	科 目	高等部									専攻科		備考
		1年		2年			3年			1年	2年		
		ⅠⅡ型	Ⅲ型	Ⅰ型	Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅰ型	Ⅱ型	Ⅲ型				
工業	工業技術基礎	3											
	課題研究						3	3				「総合的な探究の時間」読替	
	実習			3	3		3	4		10	10		
	製図	2			2			2		2	2		
	工業数理基礎	1		1	1								
	情報技術基礎						2	2		2	2	教科「情報」読替	
	建築構造									1	2		
	建築計画									1	2		
	インテリア計画							2					
	デザイン技術				2		2	2		2	2		
	職業実習		6			6			6			教科・領域を統合	

機械システム科（Ⅰ～Ⅲ型）

機械系/工科(1~3年)													
教科	科 目	高等部									専攻科		備考
		1年		2年			3年			1年	2年		
		I Ⅱ型	Ⅲ型	I 型	Ⅱ型	Ⅲ型	I 型	Ⅱ型	Ⅲ型				
工業	工業技術基礎	3											
	課題研究						3	3					「総合的な探究の時間」読替
	実習			3	3		4	4		6	9		
	製図	2			2		1	2		4	3		
	工業数理基礎	1		1	1								
	情報技術基礎						2	2					教科「情報」読替
	生産システム技術							2					
	機械工作				2								
	機械設計							2					
	電子計測制御									4	4		
	電子情報技術									2	2		
	ソフトウェア技術									2	2		
	職業実習		6			6			6				教科・領域を統合

被服科（Ⅰ～Ⅲ型）

版 権 件 項 (Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ)													
教科	科 目	高等部									専攻科		備考
		1年		2年			3年			1年	2年		
		Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ	Ⅲ Ⅳ Ⅴ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ	Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ	Ⅲ Ⅳ Ⅴ	Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ	Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ	Ⅲ Ⅳ Ⅴ				
家庭	生活産業基礎	2											
	課題研究							3	3				「総合的な探究の時間」読替
	生活産業情報							2	2		2	1	教科「情報」読替
	子どもの発達と保育										2		
	服飾文化							2	2				
	ファッション造形基礎	4		2	4		3	6					
	ファッション造形									11	12		
	ファッションデザイン				2								
	服飾手芸			2	2			2		2	2		
	フードデザイン									3	3		
	職業実習		6			6			6				教科・領域を統合

理容科（Ⅱ・Ⅲ型のみ）

教科	科 目	高等部						専攻科		備 考
		1年		2年		3年		1年	2年	
		Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅱ型	Ⅲ型			
理容・美容	理容・美容関係法規							1		
	衛生管理			2		1		1		
	理容・美容保健			1		1		1		
	香粧品化学					2				
	理容・美容文化論					2				
	理容・美容技術理論	2		1		1		1	1	
	理容・美容運営管理							1	1	
	理容実習	4		4		5		16	17	厚生労働省での「理容総合技術」内容を含む
	理容・美容情報活用					2			1	教科「情報」読替
	課題研究					3				「総合的な探究の時間」読替
	職業実習		6		6		6			教科・領域を統合

2022・2023(令和4・5)年度入学生 高等部・専攻科教育課程表 (共通教科)

宮城県立聴覚支援学校

教科	科目	標準 単位 数	高 等 部						専 攻 科			選択教科(*)について (高2) 4単位 (1～2科目) (高3 I型のみ) 6単位 (2～3科目)	
			1年		2年		3年			1年			2年
			IⅡ型	Ⅲ型	IⅡ型	Ⅲ型	I型	Ⅱ型	Ⅲ型	理容科	他学科		全学科
国語	現代の国語	2	2										
	言語文化	2	2										
	国語表現	4			3		2	2					2. 3年分割履修
	一般教養国語								1	2	2		学校設定科目
地理・歴史	地理総合	2					2	2					
	歴史総合	2			2								
公民	公共	2	2										
	政治・経済	2			*2								
	総合社会								1	2	2		学校設定科目
数学	数学Ⅰ	3	3										
	数学Ⅱ	4			*4		*4						2年・3年どちらかで選択
	数学A	2			2								
	数学B	2					*2						
	生活と数学							2	1	2	1		学校設定科目
理科	科学と人間生活	2	2										
	物理基礎	2			③	3	*2						「物理基礎」・「化学基礎」・「生物基礎」のいずれかを選択
	物理	4				*4							「物理基礎」履修済みの生徒のみ選択可
	化学基礎	2				3	*2						「物理基礎」・「化学基礎」・「生物基礎」のいずれかを選択
	化学	4					*4						「化学基礎」履修済みの生徒のみ選択可
	生物基礎	2			3	*2						「物理基礎」・「化学基礎」・「生物基礎」のいずれかを選択	
	生物	4					*4						「生物基礎」履修済みの生徒のみ選択可
保健体育	体育	7～8	3		3		2	2					1. 2. 3年分割履修
	保健	2	1		1								
	健康とスポーツ								1	2	2		学校設定科目
芸術	美術Ⅰ	2	2										
	美術Ⅱ	2			*2								
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2		2								1. 2年分割履修
	英語コミュニケーションⅡ	4					4						
	論理・表現Ⅰ	2			*2		*2						2年・3年どちらかで選択
	日常英語							2	1	2	1		学校設定科目
家庭	家庭基礎	2	2										
	フードデザイン	2			*2								
情報	情報Ⅰ	2											専門科目で読替
コミュニケーション	手話コミュニケーション		1										学校設定科目
保健体育	－			3		3			3				知的障害課程教科
音楽	－			1		1			1				知的障害課程教科
教科等を 統合	日常生活の指導			8		8			8				知的障害課程教科
	生活単元学習			4		4			4				知的障害課程教科
	作業学習			4		4			4				知的障害課程教科
総合的な探究の時間		3		1		1			1				I・Ⅱ型は「課題研究」で代替
自立活動		1	1	2	1	2	1	1	2	1	1	1	
LHR・特別活動		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
必修科目等 計			24	24	18	24	12	12	24	7	12	10	
選択科目教科等 計			0	0	4	0	6	0	0	0	0	0	
共通教科等 計			24	24	22	24	18	12	24	7	12	10	

教科	科目	標準 単位 数	高等部						専 攻 科			備考	
			1年		2年		3年		1年		2年		
			I Ⅱ型	Ⅲ型	I Ⅱ型	Ⅲ型	I Ⅱ型	Ⅱ型	Ⅲ型	理容科	他学科		全学科
各学科専門科目		25	6	6	8	6	12	18	6	23	18	20	
全教科計			30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	

2022・2023(令和4・5)年度入学生 高等部・専攻科教育課程表 (専門教科)

宮城県立聴覚支援学校

産業工芸科

教科	科 目	高等部							専攻科		備考
		1年		2年		3年			1年	2年	
		I Ⅱ Ⅲ Ⅳ	Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ	I Ⅱ Ⅲ Ⅳ	Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ	I Ⅱ Ⅲ Ⅳ	Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ	Ⅷ Ⅸ Ⅹ Ⅺ			
工業	工業技術基礎	4									
	課題研究					4	4				「総合的な探究の時間」読替
	実習			4		4	4		10	10	
	製図	2		2		2	2		2	2	
	工業情報数理					2	2		2	2	「情報Ⅰ」代替
	建築構造									2	
	インテリア計画								2	2	
	デザイン史						2				
	デザイン実践			2			2		2	2	
	デザイン材料						2				
職業実習		6		6			6			教科・領域を統合	

機械システム科

教科	科 目	高等部							専攻科		備考
		1年		2年		3年			1年	2年	
		I II 型	Ⅲ型	I II 型	Ⅲ型	I 型	Ⅱ 型	Ⅲ型			
工業	工業技術基礎	4									「総合的な探究の時間」読替
	課題研究					4	4				
	実習			4		4	4		6	9	
	製図	2		2					4	3	
	工業情報数理					2	2				「情報Ⅰ」代替
	機械工作			2		2	2				
	機械設計						4				
	生産技術						2				
	職業実習		6		6			6			教科・領域を統合
	電気回路								2	2	
	電子計測制御								4	4	
	ソフトウェア技術								2	2	

被服科

教科	科 目	高等部							専攻科		備考
		1年		2年		3年			1年	2年	
		IⅡ型	Ⅲ型	IⅡ型	Ⅲ型	I型	Ⅱ型	Ⅲ型			
家庭	生活産業基礎	2									
	課題研究					4	4				「総合的な探究の時間」読替
	生活産業情報					2	2		2	2	「情報Ⅰ」代替
	保育基礎									2	
	服飾文化					2	2				
	ファッション造形基礎	2		4							
	ファッション造形					4	6		11	12	
	服飾手芸	2		4			4		2	2	
	フードデザイン								3	3	
	職業実習		6		6			6			教科・領域を統合

理容科(Ⅱ・Ⅲ型のみ)

教科	科 目	高等部						専攻科		備 考
		1年		2年		3年		令和7年度 1年	令和8年度 2年	
		Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅱ型	Ⅲ型	Ⅱ型	Ⅲ型			
理容・美容	理容・美容関係法規							1		
	衛生管理			2		1		1		
	理容・美容保健			1		1		1		
	香粧品化学					2				
	理容・美用文化論					2				
	理容・美容技術理論	2		1		1		1	1	
	理容・美容運営管理							1	1	
	理容実習	4		4		6		18	17	厚生労働省での「理容総合技術」内容を含む
	理容・美容情報活用					2			1	「情報Ⅰ」代替
	課題研究					3				「総合的な探究の時間」読替
	職業実習		6		6		6			教科・領域を統合

※理容師養成施設として厚生労働省に定められた科目・単位数があるため、理容科のみ専攻科の教育課程も表記しました。

7 在 籍 一 覧

学年・組	男	女	計	通学生	寄宿舎生
幼稚園部	1年1組	0	4	4	0
	2年1組	2	2	4	0
	3年1組	1	2	3	0
	3年2組	2	1	3	0
	計4学級	5	9	14	0
小学部	1年1組	1	1	2	0
	2年1組	2	4	6	0
	3年1組	2	3	5	0
	4年1組	1	1	2	0
	5年1組	1	1	2	0
	6年1組	3	0	3	0
	重複1組	1	2	3	0
	計7学級	11	12	23	0
中学部	1年1組	3	1	4	0
	2年1組	1	4	5	1
	3年1組	2	2	4	1
	重複1組	1	2	3	0
	計4学級	7	9	16	2

学年・組	男	女	計	通学生	寄宿舎生
高等部	産工1年1組	1	1	2	0
	被服1年1組	0	2	2	1
	被服1年2組	0	1	1	0
	理容1年1組	1	0	1	1
	産工2年1組	3	1	4	0
	産工2年2組	1	0	1	0
	産工3年1組	0	2	2	0
	機シ3年1組	2	0	2	0
	被服3年1組	0	2	2	0
	理容3年1組	1	0	1	1
専攻科	計10学級	9	9	18	3
	産工2年1組	2	0	2	0
	計1学級	2	0	2	0
合 計		34	39	73	68
				5	

8 日 課 時 程 表

(1)幼稚園部

時 刻	活動 (月～金)
～ 9:30	登 校
9:30～10:10	朝の活動
10:20～11:05	設定保育
11:05～11:55	自由遊び
11:55～13:00	給 食
13:00～13:30	帰りの活動
13:30～14:00	個別指導

(2)小学部・中学部・高専部

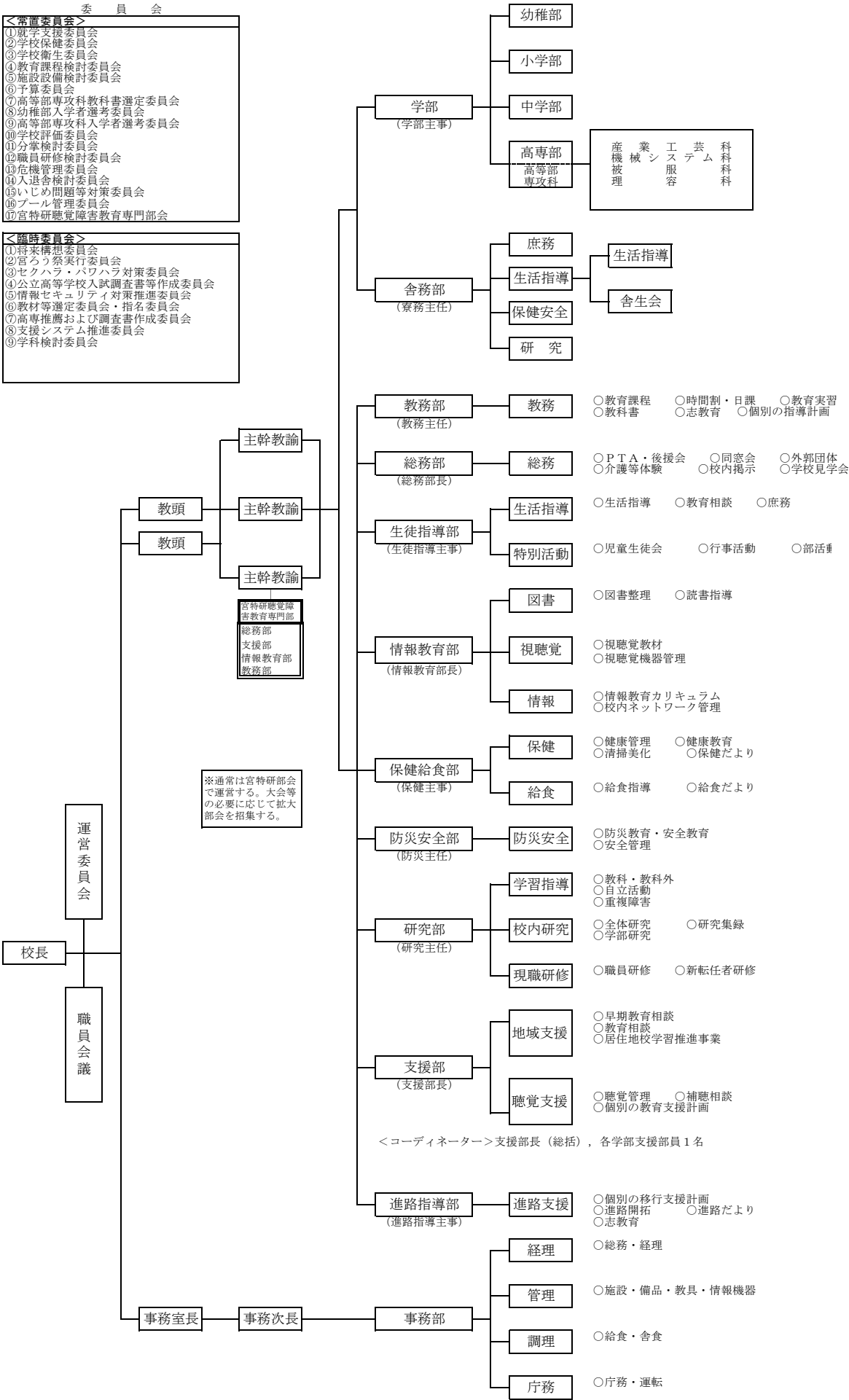
小学部	活 動	中学部・高等部・専攻科
～ 8:30	登 校	～ 8:30
8:30～ 8:40	朝の会・SHR等	8:30～ 8:40 (高専8:30～8:35)
8:30～ 8:40	朝の集い(実施日は学部ごと計画)	8:30～ 8:40 (高専8:30～8:35)
8:45～ 9:30	1校時	8:45～ 9:35 (高専8:40～9:30)
9:35～10:20	2校時	9:40～10:30
10:40～11:25	3校時	10:40～11:30
11:30～12:15	4校時	11:40～12:30
12:15～13:20	昼食・休憩	12:30～13:15
13:20～14:05	5校時	13:15～14:05
14:10～14:55	6校時	14:15～15:05
14:55～15:20	清掃・帰りの会・SHR等	15:05～15:25
15:20	下 校	16:50

9 学校運営機構図

委員会

- <常置委員会>
- ① 障害支援委員会
 - ② 学校保健委員会
 - ③ 学校衛生委員会
 - ④ 教育課程検討委員会
 - ⑤ 施設設備検討委員会
 - ⑥ 予算委員会
 - ⑦ 高等部専攻教科書選定委員会
 - ⑧ 幼稚部入学者選考委員会
 - ⑨ 高等部専攻科入学者選考委員会
 - ⑩ 学校評価委員会
 - ⑪ 分掌検討委員会
 - ⑫ 職員研修検討委員会
 - ⑬ 危機管理委員会
 - ⑭ 入退学検討委員会
 - ⑮ いじめ問題等対策委員会
 - ⑯ プール管理委員会
 - ⑰ 宮特研聴覚障害教育専門部会

- <臨時委員会>
- ① 将来構想委員会
 - ② 宮ろう祭実行委員会
 - ③ セクハラ・パワハラ対策委員会
 - ④ 公立高等学校入試調査書等作成委員会
 - ⑤ 情報セキュリティ対策推進委員会
 - ⑥ 教材等選定委員会・指名委員会
 - ⑦ 高専推薦および調査書作成委員会
 - ⑧ 支援システム推進委員会
 - ⑨ 学科検討委員会



10 舍務部運営計画

1 運営目標

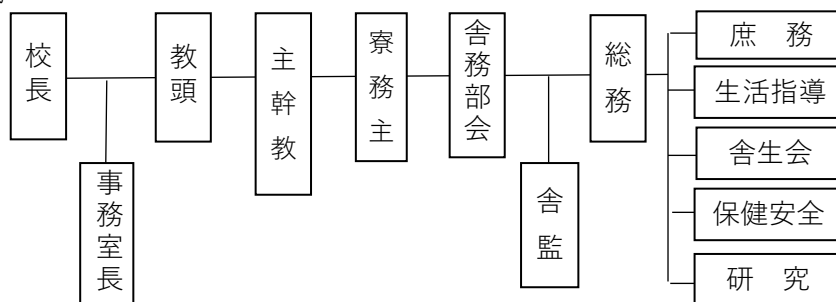
- (1) 集団生活を通して自律心を養い、協力し合う心を育む
- (2) 健康で明るく楽しく生活する態度を養う
- (3) 進んで話したり、聞いたりする態度を育む

2 運営重点目標

- (1) 社会自立に必要な基本的生活習慣を身に付ける
 - ① コミュニケーション力の向上
 - ② 発達段階に応じた生活時間の確立
 - ③ 保健・安全指導を通して健康で安全な生活を考える力の育成
- (2) 集団生活を通して、自主性や責任感、協調性を育む
 - ① 集団生活のルールやマナーの理解・遵守
 - ② 当番活動や係活動の充実
 - ③ 児童生徒の話し合い活動の推進
 - ④ 茶道教室活動の充実
- (3) 児童生徒理解と指導・支援体制の充実を図る
 - ① 家庭、学部、支援部との連携、情報共有
 - ② 舎内ケース会の推進
 - ③ 寄宿舍研究・研修を活用した生活指導・支援の工夫

3 運営機構

(1) 組織



(2) 職員構成

舎監	寮務主任	1 (兼務)	14
	舎監	13 (兼務)	
指導員	指導員長	1	13
	副指導員長	1	
	指導員	11	
栄養士		(兼務)	
技師		(兼務)	

4 令和5年度寄宿舍児童生徒

学部	小学部							中学部				高等部				専攻科			
学年	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	計	総計
男子	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	1	2	0	0	0	4
女子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1
計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	1	3	0	0	0	5

11 年間行事計画

月	全校・関連行事	幼稚部	小学部
4	着任式 始業式 入学式（全学部） PTA 後援会総会・授業参観 身体測定	新しいお友達を迎える会 保育参観・懇談会 避難訓練	安全教室（交通安全1～3年） 下校指導（自力通学生） 1年生を迎える会 授業参観・懇談会 全国学力学習状況調査（6年）
5		さつまいも苗植え、誕生会 運動会、面談期間	運動会 個別面談
6	全校朝のつどい 避難訓練① 教育実習①	春の遠足（水族館） 水遊び 誕生会	校外学習（1、2年/県民の森） 校外学習（6年/震災遺構、縄文の森） 校外学習（4年/浄水場、今泉） 小牛田校交流① 校外学習（2年/長町方面） 校外学習（1年/八本松公園）
7	学校見学会①（学校関係） 大掃除	夏祭り、水遊び お話の会、面談期間	プール開き、着衣水泳 授業参観・懇談会・ｽﾏｰ教室
8	教育実習② 学校見学会②（地域・進路）	プール遊び	夏休み作品展 小牛田校交流②
9		誕生会 避難訓練 秋の遠足（動物園） 交通安全教室 お話の会	プール納会 校外学習（3年/東郡山、ベニマル） 校外学習（1、2年/広瀬川） 校外学習（4年/天文台） 陸上記録会（6年/陸上競技場） 体力・運動能力テスト 宿泊学習（5、6年/松島）
10	終業式・始業式 PTA 親子レク 宮ろう祭 全校朝のつどい	いもほり 面談期間	校外学習（3年/東郡山） 校外学習（2年/太白図書館） 校外学習（5年/大衡村トヨタ） 校外学習（1年/七北田公園）
11	避難訓練② 児生会リーダー研修	やさいも会 柿もぎ 誕生会 おみせやさんごっこ	校外学習（重複） 校外学習（2年/長町商店街、八本松） 校外学習（3年/太白消防署） 校外学習（4年/鎌田ホール） 校外学習（6年/天文台）
12	学校訪問指導 大掃除	誕生会 クリスマス会	出前授業（3、4年/防災） 校外学習（3年/長町） 授業参観・懇談会
1	全校朝のつどい	むかし遊び ミニオリンピック 誕生会	校外学習（3年/歴史民俗資料館） 校外学習（5年/放送局） 校外学習（1年/八本松公園） 校内書き初め展
2		豆まき会 お話の会 飾り作り 誕生会 お別れ会 面談期間	校外学習（3年/県警・県庁） 保護者面談
3	高卒業・専修了証書授与式 高等部・専攻科入学者選考および合格発表、小・中卒業式 幼修了・修業式、大掃除 修業式 離任式	修了式・修業式	6年生を送る会 学びの発表会（3～6） クリーン大作戦（小1～5）

月	中学部	高等部・専攻科	寄宿舍
4	対面式 3年全国学力状況等調査 授業参観・懇談会・個別面談 (~5/26)	新入生オリエンテーション 高等部対面式 専攻科歓迎会 交通安全教育 授業参観・学年懇談会	入舎式 歓迎会 新入舎生オリエンテーション 歓迎茶会 週番班会 舎生オリエンテーション・避難経路確認 寄宿舍保護者会
5	生徒総会	高2専1進路5者面談、高12専1個別面談① 春のレクレーション大会 生徒総会 総体地区予選・県大会(~6月)	舎生会総会
6	仙台市中総体壮行式 仙台市中総体 2年科学館学習 前期中間考査	高1教育課程説明会 高2専1就労体験実習 高3専2前期中間考査 高1校外学習・LHR	避難訓練(地震)
7	個別面談(~21) ウルスラ交流 県中総体壮行式 県中総体	東薺体卓球(青森) オープンスクール① 進路ガイダンス 職業相談	夏のつどい(西暦奇数年度校外行事)
8	実力考査	オープンスクール②	
9	意見発表会 前期期末考査 授業参観・懇談会 立会演説会・生徒会役員選挙 3年修学旅行(2泊3日) 1年天文台学習	全薺体壮行式 前期期末考査 立会演説会・生徒会役員選挙 Ⅲ型校外学習 全薺体陸上大会(埼玉)	
10	仙台市新人大会壮行式 仙台市新人大会 3年実力考査 3年進路面談(~11月末)	高1進路5者面談 進路講演会	舎生会役員選考会 避難訓練(不審者) ケータイスマホ安全教室
11	1年職場見学 2年職場体験 体育的行事	全薺体卓球(愛知) 高1就労体験実習 高2修学旅行 高3専1校外学習 高2専1進路5者面談②	舎生会役員任命式 輪王寺茶道研修会
12	後期中間考査 3年保護者入試説明会 1年八本松寿大学交流 2年南小泉中交流 先輩に学ぶ会	高専球技大会 高等部弁論大会	勉強会 冬のつどい(西暦奇数年度校内行事)
1	実力考査	高3専2個別面談 高3専2学年末考査	初釜(新春茶会) 避難訓練(火災)
2	3年後期期末考査 新入生オリエンテーション 1・2年後期期末考査 授業参観・懇談会・個別面談 (~3/13)	高12専1個別面談 高12専1学年末考査 高3生を送る会 専修了を祝う会 卒業式総練習、同窓会入会式	卒業を祝う会 週番班会
3	卒業を祝う会	高等部卒業式・専攻科修了式 高専入学者選考日(臨時休業) 高専入学者選考追検日(臨時休業) 高専二次選考日(臨時休業) 新入生準備登校	在舎生オリエンテーション

12 各種調査

12・1 高等部・専攻科の進路状況（過去10年間）

部	科	年度		総数	H25		H26		H27		H28		H29		H30		R1		R2		R3		R4		
		進路			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
高等部	産業工芸	進学	本校専攻科	5	1								1		1						2				
			大学・短大	2											1						1				
		就職	自動車製造・修理	6					1		2		2												1
			電子部品製造	1		1																			
			食品製造・小売り	2							1											1			
			食品・調理	1									1												
			清掃・クリーニング	2																		2			
			事務	2																				1	1
			物流	4													1		1		1	1			
			福祉サービス事業所	5						1				1		1		1						1	
	機械システム	進学	本校専攻科	4					1		1						1		1						
			大学・短大	7		1											2					2		2	
			職業能力開発校	0																					
		就職	自動車製造・部品・修理	11	2		1		1	2	1		1				2					1			
			精密機器・電子部品製造	5	1												1		2					1	
			家業	0																					
	被服	進学	本校専攻科	2										1						1					
			他校専攻科	2		1						1													
			大学・短大	1																1					
		就職	食品・調理、被服	4		1		1								1									1
			自動車製造・部品・修理	5				2						1				2							
			その他の製造	1																					1
			清掃・クリーニング	0																					
			販売・サービス	0																					
			事務	1													1								
			物流	1																				1	
	福祉サービス事業所	4		1				1					1									1			
	理容	進学	本校専攻科	4			1							1				1	1						
	計				82	4	5	2	3	3	4	5	1	6	4	3	2	8	3	5	2	10	3	5	4

部	科	年度		総数	H25		H26		H27		H28		H29		H30		R1		R2		R3		R4	
		進路			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
専攻科	産業工芸	就職	自動車製造・部品・修理	1													1							
			その他の製造業	1			1																	
			事務	1														1						
		進学	国立リハビリテーションセンター	0																				
			福祉サービス事業所	1					1															
	機シ	就職	自動車製造・部品・修理	3											1							1		1
	被服	就職	食品・調理	0																				
			事務	2												1							1	
			福祉サービス事業所	0																				
	理容	就職	理容店	4		1		2										1						
			自動車製造・部品・修理	1																			1	
			事務	1																		1		
			その他	1						1														
			在宅	0																				
	計			16	0	1	1	2	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	1	0	1	1	2	1
高等部・専攻科合計			86	4	6	3	5	4	4	6	1	6	4	4	2	9	5	6	2	11	4	7	5	

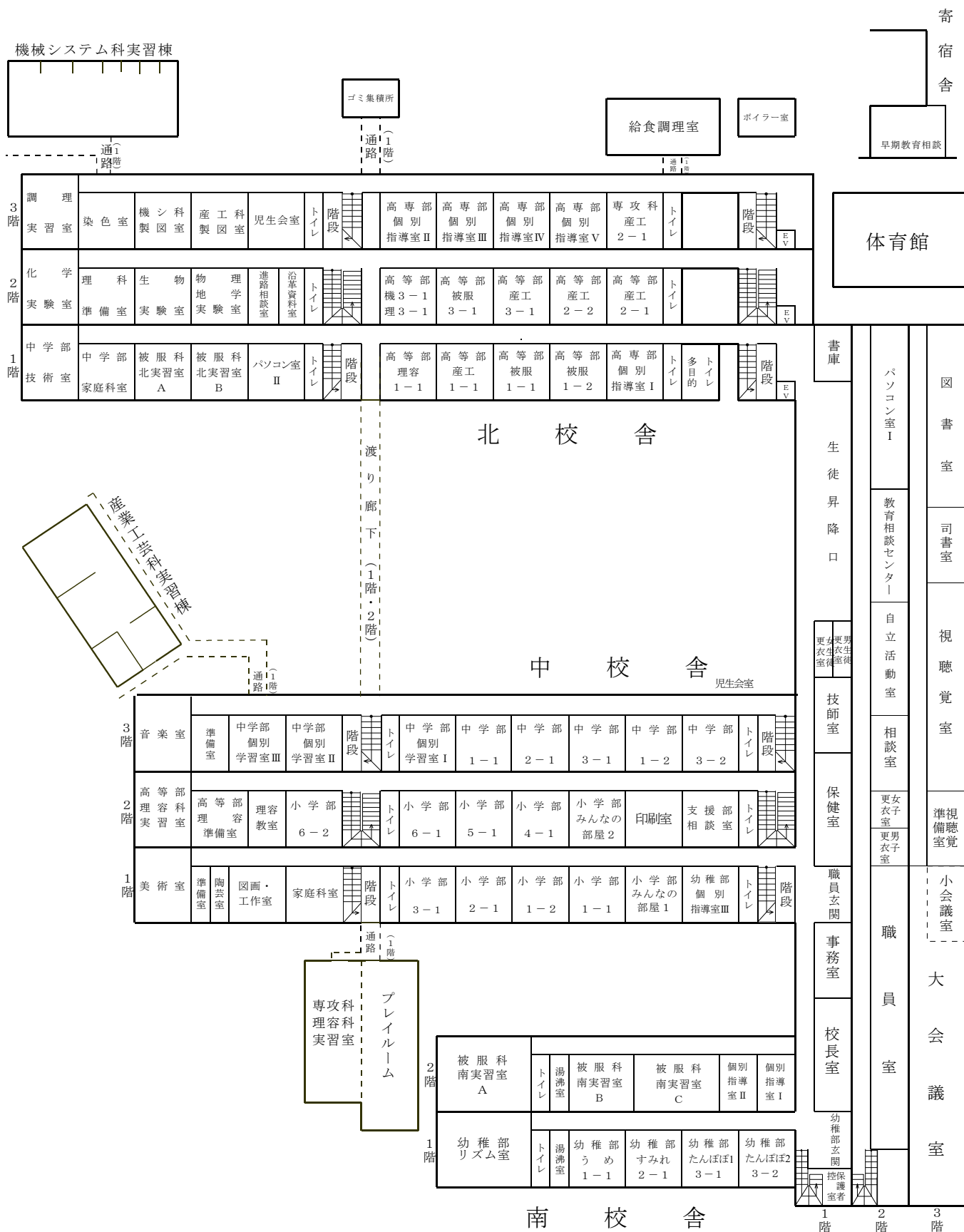
12・2 聴力レベル（良聴耳 dB）

学部	在籍	～70	71～	81～	91～	101～	不明
幼稚園	14	1	3	2	4	4	0
小学部	23	0	0	3	5	15	0
中学部	16	2	1	2	5	6	0
高等部	18	1	0	0	7	10	0
専攻科	2	1	0	0	0	1	0
計	73	5	4	7	21	36	0

12・3 居住地調査

居住地	幼稚園		小学部		中学部		高等部		専攻科		合 計			寄宿舎生		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	計
仙台市	5	6	8	10	5	5	3	6	2		23	27	50	1		1
塩竈市											0	0	0			0
名取市		1	2	1				1			2	3	5			0
角田市							1				1	0	1			0
白石市					1						1	0	1			0
多賀城市		1	1	1							1	2	3			0
岩沼市								1			0	1	1			0
石巻市	小牛田校に通学					1					0	1	1			0
東松島市											0	0	0			0
大崎市					1		1				2	0	2	2		2
登米市											0	0	0			0
気仙沼市							1				1	0	1	1		1
栗原市											0	0	0			0
刈田郡						1					0	1	1			0
柴田郡							2				2	0	2			0
伊具郡											0	0	0			0
亶理郡											0	0	0			0
富谷市						1	1				1	1	2			0
黒川郡		1									0	1	1			0
宮城郡						1		1			0	2	2		1	1
遠田郡	小牛田校に通学										0	0	0			0
加美郡											0	0	0			0
牡鹿郡											0	0	0			0
本吉郡											0	0	0			0
合計	5	9	11	12	7	9	9	9	2	0	34	39	73	4	1	5
居住地	幼稚園		小学部		中学部		高等部		専攻科		合 計			寄宿舎生		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女	計

令和5年度校舎配置図



<小牛田校>

1 校地・校舎

位 置	遠田郡美里町北浦字船入1番地
校 地	3,019m ²
校 舎	1,740m ²



2 沿 革

昭和32.	3.	28	宮城県教育委員会告示第10号により遠田郡小牛田町北浦字二又下22番地に宮城県立聾学校小牛田分校設置（4月1日）
	4.	18	開校式並びに入学式挙行
36.	7.	25	校舎一期工事竣工
37.	3.	16	宮城県教育委員会告示第12号により宮城県立小牛田聾学校設置（4月1日）
	3.	30	宮城県教育委員会告示第17号により宮城県立聾学校小牛田分校閉校
	4.	1	宮城県立小牛田聾学校開校、職員19名、初代校長 斎藤倅治
	4.	18	開校式並びに入学式挙行（児童生徒数57名）
39.	4.	20	移籍児童生徒との対面式、寄宿舎発足（舎生69名）
40.	2.	17	校舎修築工事完了
	3.	19	校章制定（図案駒井重一郎氏）、校旗制定、樹立式挙行
41.	4.	18	ヘレン・ケラー女史胸像除幕式挙行
	8.	31	校長公舎竣工（25坪）
43.	3.	19	中庭造園「きそう園」と命名
	4.	1	幼稚部（5歳児1年保育）新設
44.	4.	1	幼稚部（4歳児2年保育）新設
45.	3.	3	耳の日鼓笛隊町内パレード
	4.	1	二代校長 荒喜一郎
	12.	21	スクールバス「わかくさ」運行開始
46.	3.	3	体育館落成披露式挙行
	10.	30	創立十周年記念式典、記念誌「十年の歩み」発行
47.	4.	18	校歌制定（作詞 根岸保衛、作曲 福井文彦）
	8.	24	プール竣工、プール開き
48.	4.	1	三代校長 石川輝夫
			幼稚部（3歳児3年保育）新設
	7.		青生小との交流学习開始
51.	8.	1	四代校長 鈴木市郎
55.	11.	27	昭和54・55年文部省指定心身障害児理解推進の相手校として研究公開（推進校 小牛田中）
56.	4.	1	五代校長 羽生雄一
			宮城県立小牛田聾学校を宮城県立小牛田ろう学校と改称
			乳幼児教室開設
	9.	2	国際障害者年記念大崎地方推進大会へ鼓笛隊参加
	10.	4	創立二十周年記念式典、記念誌「二十年の歩み」発行、わかくさ太鼓創作発表
57.	10.	18	聴覚障害理解のため学区保健婦への学校公開開催
59.	10.	9	宮城県音楽教育研究大会において「わかくさ太鼓」披露
60.	4.	1	六代校長 佐々木一洋
	7.	22	管理棟屋上防水改修工事、小学部棟入り口扉新設
	10.	8	宮城県小・中・高音楽発表会で「わかくさ太鼓」発表
61.	4.	1	校舎、体育館、寄宿舎機械警備導入
62.	3.	1	消防設備改修工事
63.	3.	16	宮城県立小牛田ろう学校閉校式、閉校記念誌「26年の歩み」発行
	3.	31	宮城県教育委員会行政規則第9号により宮城県立小牛田ろう学校閉校
63.	4.	1	昭和62年宮城県教育委員会規則第10号（昭和62年12月25日公布）により宮城県立ろう学校小牛田分校開校
平成	5.	10. 17	「校舎お別れ式」実施
	6.	1. 18	南校舎（856.6m ² ）中校舎（505.8m ² ）解体撤去
	7.	3. 31	新校舎竣工（1,740m ² ）
	4.	1	宮城県立ろう学校小牛田分校を宮城県立ろう学校小牛田校と改称



6. 9 宮城県立小牛田高等養護学校並びに宮城県立ろう学校小牛田校新校舎落成記念式典挙行
8. 3. 3 第31回耳の日記念福祉まつりで「わかくさ太鼓」発表
10. 19 第8回全国ろうあ老人大会で「わかくさ太鼓」披露
9. 6. 16 古川管内教育研究会自主研究公開として学校公開見学会を開催
11. 9. 20 みやぎ県民大学小牛田カレッジに会場提供並びに交流
13. 10. 29 第1回全国障害者スポーツ大会「ふれあい広場」ステージコーナーで「わかくさ太鼓」披露（グランディ21）
12. 1～22 「情報通信技術（IT）講習」障害者向け講習会（4日間）
14. 4. 23 文部科学大臣表彰を受賞（読書活動優秀実践校）
6. 21 岩手県立一関聾学校小学部と小牛田校で交流（最終）
10. 15 文部科学省体験活動事例集に掲載（交流相手校青生小学校との事例）
11. 20 小牛田町教育文化功労賞を受賞（読書活動優秀実践校文部科学大臣賞受賞に対して）
15. 9. 6 宮城県歯科医師会「よい歯の学校コンクール」で幼稚部、小学部共に「入選」
16. 2. 3 全国聾学校合奏コンクールで小学部が「審査員奨励賞」を受賞
7. 2 自主公開研究会の開催
- 研究テーマ「理解と表現の力を育てる保育・授業の研究」
9. 4 宮城県歯科医師会「よい歯の学校コンクール」で幼稚部、小学部共に「入選」
17. 1. 28 校内LAN整備工事完了
2. 2 全国聾学校合奏コンクールで小学部が「努力賞」を受賞
5. 9 居住地幼稚園交流を開始
5. 25 県教委事業の居住地校学習を開始
10. 2 宮城県歯科医師会「よい歯の学校コンクール」で幼稚部、小学部共に「入選」
18. 2. 2 全国聾学校合奏コンクールで小学部が「審査員奨励賞」を受賞
1. 25 手話校歌制定
3. 2 手話校歌の完成発表披露
10. 29 宮城県歯科医師会「よい歯の学校コンクール」で幼稚部、小学部共に「入選」
19. 2. 9 全国聾学校合奏コンクールで小学部が「努力賞」を受賞
20. 2. 1 全国聾学校合奏コンクールで小学部が「審査員奨励賞」を受賞
6. 20、9. 5、11. 11 3回にわたって公開保育授業研究会を開催
- 研究テーマ「確かな言語力を育むための指導の在り方」
8. 11 県北地区聴覚障害乳幼児早期支援連絡会（第1回）の開催
21. 1. 7 全国聾学校合奏コンクールで小学部が「審査員奨励賞」を受賞
4. 1 宮城県立ろう学校小牛田校を宮城県立聴覚支援学校小牛田校と改称
11. 交流・共同学習の取り組みについて日本教育新聞に4回にわたり記事掲載
22. 1. 6 全国聾学校合奏コンクールで小学部が「審査員奨励賞」を受賞
23. 3. 11 東日本大震災発生 M9.0 以後授業打ち切り、修了式中止
23. 4. 21 震災後、保育授業再開
25. 11. 2 人権フェスティバルイン美里に幼小合同太鼓演奏で参加
26. 10. 25 創立百周年記念式典、記念誌「英知と忍耐」発行
28. 7. 22 東北障がい者芸術公募展入選
- 令和2. 3. 3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休校（～5. 31）
5. 27 全教室等エアコン設置完成
6. 1 令和2年度始業式・入学式
3. 9. 24 校舎内トイレ工事完成

3 職員構成

職 名	副 校 長	教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	実 習 助 手	常 勤 講 師	代 替 養 護 教 諭	事 務 室 長	事 務 職 員	技 師				計	学 校 医	薬 剤 師	計	合 計
										庁 務	調 理	技 能	庁 務 (臨)					
計	1	11	0	(1)	0	2	1	0	0	0	0	(2)	1	18(3)	4	1	5	23(3)

（ ）は小牛田高等学園職員との兼務員数

5 教育の基本方針

5・1 教育目標

- (1) 確かな日本語力を目指した言語指導の充実
- (2) 基礎・基本の定着を目指した学習指導の充実
- (3) 自己実現を支援する進路指導の充実

5・2 具体目標

- (1) 「豊かに正しく表現する子」
聴覚を最大限活用できる力と、手話を含めた多様なコミュニケーション手段を相手や場に応じて使い分け活用できる言語力を育み、進んで自分を表現できる人間を育成する。
- (2) 「元気な体と大きな心を持つ子」
障害に基づく種々の困難を改善・克服し、たくましく生きる健全な心身と公正な判断力を持った人間に育てる。
- (3) 「積極的に取り組み、みんなと協調する子」
障害を正しく認識し、自己の主体性を確立し、周囲に積極的に働きかけながら粘り強く環境を切り拓くことができ、また、相手の立場を理解・尊重し、奉仕の精神を持ち、人と協調してよりよい社会の実現を目指し努力する人間を育成する。

	豊かに正しく表現する子	元気な体と大きな心を持つ子	積極的に取り組み、 みんなと協調する子
幼稚園部	○じぶんのきもちや おもいをあいてに しっかりつたえる子	○げんきからだを うごかし よくかんがえる子	○すすんでかつどうし ともだちと なかよくあそぶ子
小学部	○ことばを正しく理解し 進んで学習に取り組む子	○強い体と心をもって たくましく生活できる子	○積極的に行動し 友達と仲良くできる子

5・3 経営方針

- (1) 常に教育的使命感と研究心を持って質の高い教育を目指し、聴覚障害教育の専門性を高めると共に、教育全般に関わる研修を推進する。
- (2) 個々の障害の状態や発達段階及び幼児・児童のニーズに応じた教育の充実に向けて、各学部間の連携を密にし、教育の一貫性を図る。
- (3) 保護者、関係諸機関、学校近隣及び幼児・児童の居住する地域社会との連携を深め、開かれた学校づくりに努める。
- (4) 宮城県全域において、聴覚障害教育のセンター的機能の役割を果たすと共に、聴覚障害の理解啓発に努める。
- (5) 進路への興味関心を引き出す教育活動や情報提供に努め、進路指導の充実を図る。

5・4 今年度の重点目標

1 学習指導

＜コミュニケーション及び日本語＞

- ① 多様なコミュニケーション手段が活用できるよう教育環境を整備し、日本語力向上を図るための言語指導を推進する。

＜学習指導＞

- ② 個別の教育支援計画及び個別の指導計画に基づき、基礎学力の定着・伸長を目指した確かな指導を、家庭との連携のもと進める。

2 生活指導・進路指導

＜生活指導＞

- ③ 外部専門家や地域とも連携しながら心と体の健康作りを推進する。

＜進路指導＞

- ④ 志教育の視点に立ち、児童生徒・保護者の就労意識を高めるなど年齢発達段階に応じた、キャリア教育を充実させる。

3 学校運営

- ⑤ 安全安心な学びが実現できるよう、職員一人一人の危機管理の意識や感染症対策を徹底すると共に、組織的な対応を進める。

- ⑥ 聴覚障害教育に係る専門性の向上と指導力向上を目指し、研修を充実させる。

- ⑦ 学習指導要領に対応した教育計画の作成と実施及び将来構想の検討と具体案の策定にあたる。

- ⑧ 聴覚障害教育のセンター的役割を発揮しながら、幼児児童生徒及び保護者のニーズに応じた早期支援・就学支援を充実させる。

6 在籍一覧

部	学年・組	男	女	計	通学生	寄宿舍生	備 考
幼稚園部	1 年	0	1	1	1	0	
	2 年	0	1	1	1	0	
計	2 学級	0	2	2	2	0	

部	学年・組	男	女	計	通学生	寄宿舍生	備 考
小学部	2 年 1 組	2	1	3	3	0	
	5 年 1 組	0	1	1	1	0	
	6 年 1 組	0	1	1	1	0	
	重複 1 組	1	1	2	2	0	
計	4 学級	3	4	7	7	0	

合計	6 学級	3	6	9	9	0	
----	------	---	---	---	---	---	--

7 教育課程

7・1 幼稚部

学 年	教 育 内 容	週 時 数
1 年（3 歳児）	健康（心身の健康） 人間関係（人とのかかわり） 環境（身近な環境とのかかわり） 言葉（言葉の獲得） 表現（感性と表現） ----- 自立活動（障害に基づく困難の改善と克服）	20
2 年（4 歳児）		
3 年（5 歳児）		

7・2 小学部（年間時数）

学 年	教 科											外国語活動	総合的な学習の時間	特別活動	自立活動	合 計
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳					
1 年	306		136		78	38	68		95		34			34	70	895
2 年	315		175		85	40	70		95		35			35	70	956
3 年	245	70	175	90		40	60		95		35	35	35	35	70	1026
4 年	245	95	175	105		40	60		95		35	35	35	35	60	1066
5 年	175	100	175	105		40	50	55	90	60	35		35	35	60	1078
6 年	175	105	175	105		40	50	50	90	60	35		35	35	60	1078

小学部…重複障害学級（年間時数）

学 年	教 科						日常生活の指導	生活単元学習	自立活動	特別活動	合 計
	国語	算数	音楽	図工	体育	特別の教科道徳					
1 年	68	68	46	68	95	24	202	160	94	35	895
5 年	140	140	50	70	90	35	140	210	105	35	1078

8 日課時程表

8・1 幼稚部

	月	火	水	木	金
登校 9:00 9:10 10:15 10:40 11:20 12:00 12:55 13:15 13:30	登 校 ・ 準 備				
	朝の会・クラス保育				
	遊びの指導(後片付け)				
	合同保育『みんなの会』				
	自立活動				
	給食準備				
	給食指導・歯磨き				
	遊 び の 活 動				
	下校				

8・2 小学部

日	課
～8:25	登 校
8:30～8:40	朝の読書、朝の自立活動、スキタイム
8:40～8:45	朝の会
8:45～9:30	1 校 時
(5分)	休み時間
9:35～10:20	2 校 時
(20分)	業 間 (自由遊び、マラソン)
10:40～11:25	3 校 時
(5分)	休み時間
11:30～12:15	4 校 時
(55分)	給食・休み時間
13:10～13:55	5 校 時
(5分)	休み時間
14:00～14:45	6 校 時
14:45～14:55	清 掃
14:55～15:10	帰りの会
15:10～	下 校

9.学校経営組織



10 主な学校行事

月	全 校	幼 稚 部	小 学 部
4	・着任式 ・前期始業式 ・入学式 ・健康診断 ・保育・学習参観、PTA 総会	・新入生を迎える会(幼小合同)	・新入生を迎える会(幼小合同)
5	・交通安全教室	・こいのぼり会 ・遠足 ・交流対面式(ふ幼)	
6	・小牛田校運動会	・朝の交流(ふ幼) ・プール	・仙台校全体交流 ・青生小交流(新体力テスト)
7	・保育・学習参観	・七夕会 ・プール ・朝の交流(ふ幼)	・水泳教室 ・遠足 ・青生小交流学习(わかば祭り)
8	・夏休み作品展 ・避難訓練(風水害) ・教育実習	・プール	・仙台校交流学习
9	・学校公開見学会	・お月見会 ・秋の公園遊び	・水泳教室 ・生活安全教室 ・宿泊学習(5, 6年)
10	・前期終業式 ・後期始業式 ・学習発表会	・4歳児交流(ふ幼) ・乗り物学習	・遠田郡音楽祭
11	・合同避難訓練(火災) ・学校訪問指導	・朝の交流(ふ幼) ・仙台校との交流	・児童集会
12	・保育・学習参観	・クリスマス会 ・3歳児交流(ふ幼)	・委員会
1	・給食に感謝する会	・お別れ交流会(ふ幼)	・児童集会
2	・保育・学習参観	・一日入学	・一日入学
3	・防災のつどい ・修了、卒業式 ・修業式 ・離任式	・ひなまつり会 ・お別れ会	・6年生を送る会

※小学部は青生小交流で学年毎に各教科、行事等の交流学习を行う。

11 各種調査

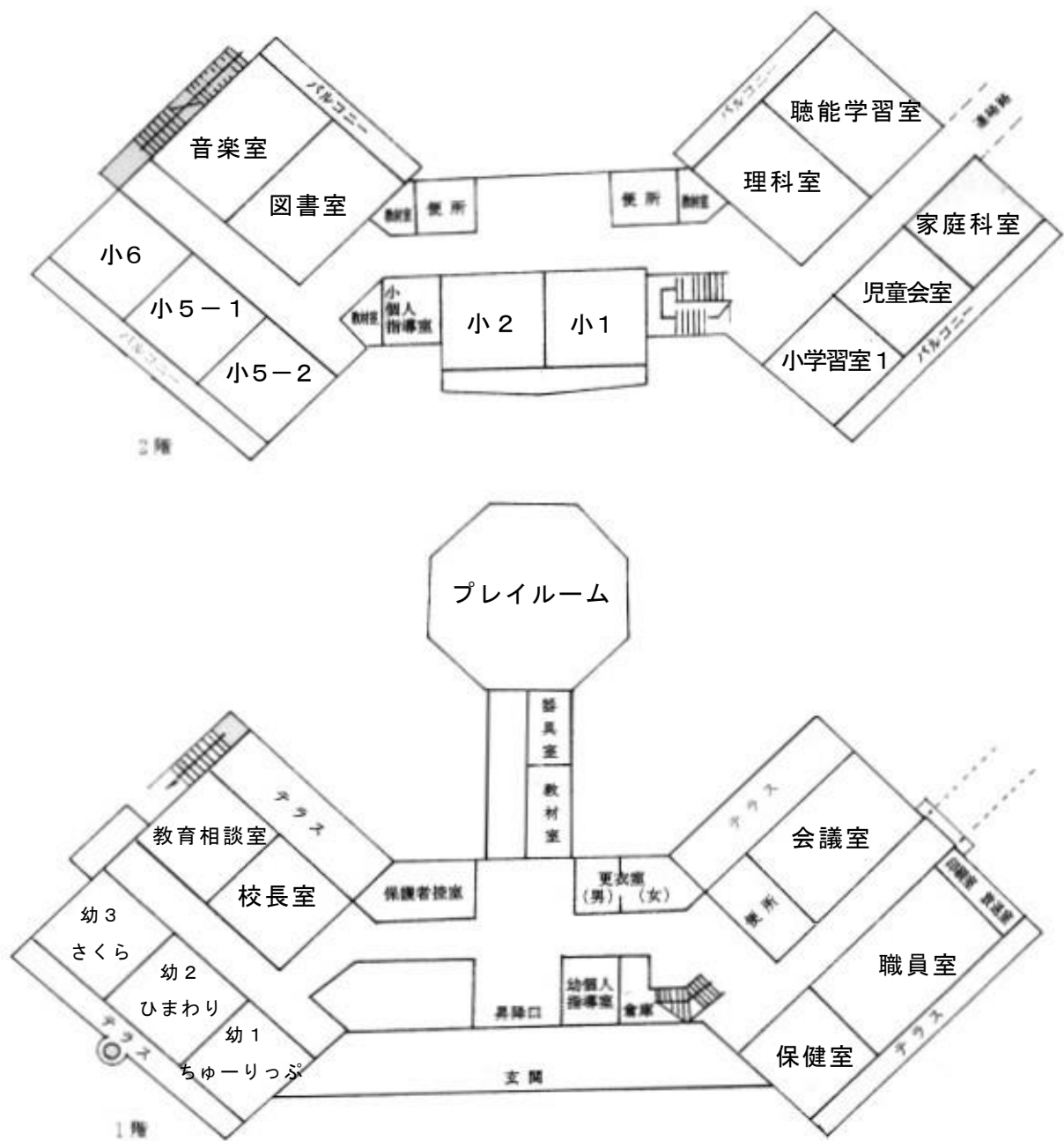
11・1 聴力レベル(良聴耳 dB)

学部	在籍	50 以下	51～	61～	71～	81～	91～	101～	不明
幼稚部	2							1	1
小学部	7		1		1	1		2	2
計	9		1		1	1		3	3

11・2 居住地調査

学部 居住地	幼稚部		小学部		小牛田校合計		
	男	女	男	女	男	女	計
大崎市		1		3		4	4
石巻市		1	1		1	1	2
東松島市							
気仙沼市							
栗原市							
登米市			1		1		1
宮城郡							
黒川郡							
遠田郡			1	1	1	1	2
加美郡							
牡鹿郡							
本吉郡							
計	0	2	3	4	3	6	9

12. 令和5年度校舎配置図



校歌

作詞 根岸保衛
作曲 海鋒 義美

一、青葉山 朝日に映えて
広瀬川 遠くかがやく
山と川 人さあやかに
いまここに 学ぶよろこび

二、言の葉は 社会の息吹
巧み技能は 真珠のつとし
忍耐と英知を 掲げ
わが魂の誇りと 磨く

三、宮城野に 歳の回れば
若莢の力は 伸びて
美しき花実を 結ぶ
新たなる 明日の希望よ

小牛田校 校歌

作詞 根岸保衛
作曲 福井文彦

一 青い海の浜 里の町
仲よく友と 肩をくむ
学ぶことばの よろこびと
はげむ技能の あこがれに
あすの希望が 胸にわく

二 舟形山の 春の日に
北上川が 光っている
山の姿の 雄々しきこと
川の心の 豊かさに
若い未来が 開けゆく

＜学校案内図＞

○ 宮城県立聴覚支援学校



【交通案内】

- 宮城交通バス（仙台駅西口バスプール⑧）
仙台駅より飯田団地線（20 分） 八本松市民センター前下車 徒歩 1 分
- JR 線・地下鉄
JR 長町駅・地下鉄長町、長町一丁目下車徒歩 15 分

○ 小牛田校



【交通案内】

- 小牛田駅より徒歩 10 分

◎ 校章・校木の由来

- 校章は昭和 25 年 6 月 18 日当時の教頭佐藤実氏の手によって考案されたものである。中央に「宮」の字を配し、これに三本の光芒と三枚の葉を組合せたもので、光芒は残存感覚である目の光と希望を、萩の葉は郷土の誇りを、三という数は知・情・意の円満な発達を象徴したものである。

(昭和 39 年 10 月宮城県教育委員会発行「教育宮城」140 号に所載<校章めぐり>より)

- 校木ケヤキは「障害のある子どもたちがケヤキのように、たくましく大きく強く伸びていくように」という願いをこめて、創立 50 周年記念事業の一つとして植樹された意義あるものである。植樹は、昭和 40 年 5 月 8 日(土)、全生徒・職員の手によって行われた。40 本のうち校門から体育館前まで 37 本植えられ(うち 3 本活着せず、更に 53 年に 1 本枯れた)、美しい並木をつくり、他の 3 本はプール東南側に植えられた。
- (校木制定日 昭和 50 年 12 月 8 日)

調査 建築基礎

土質柱状図

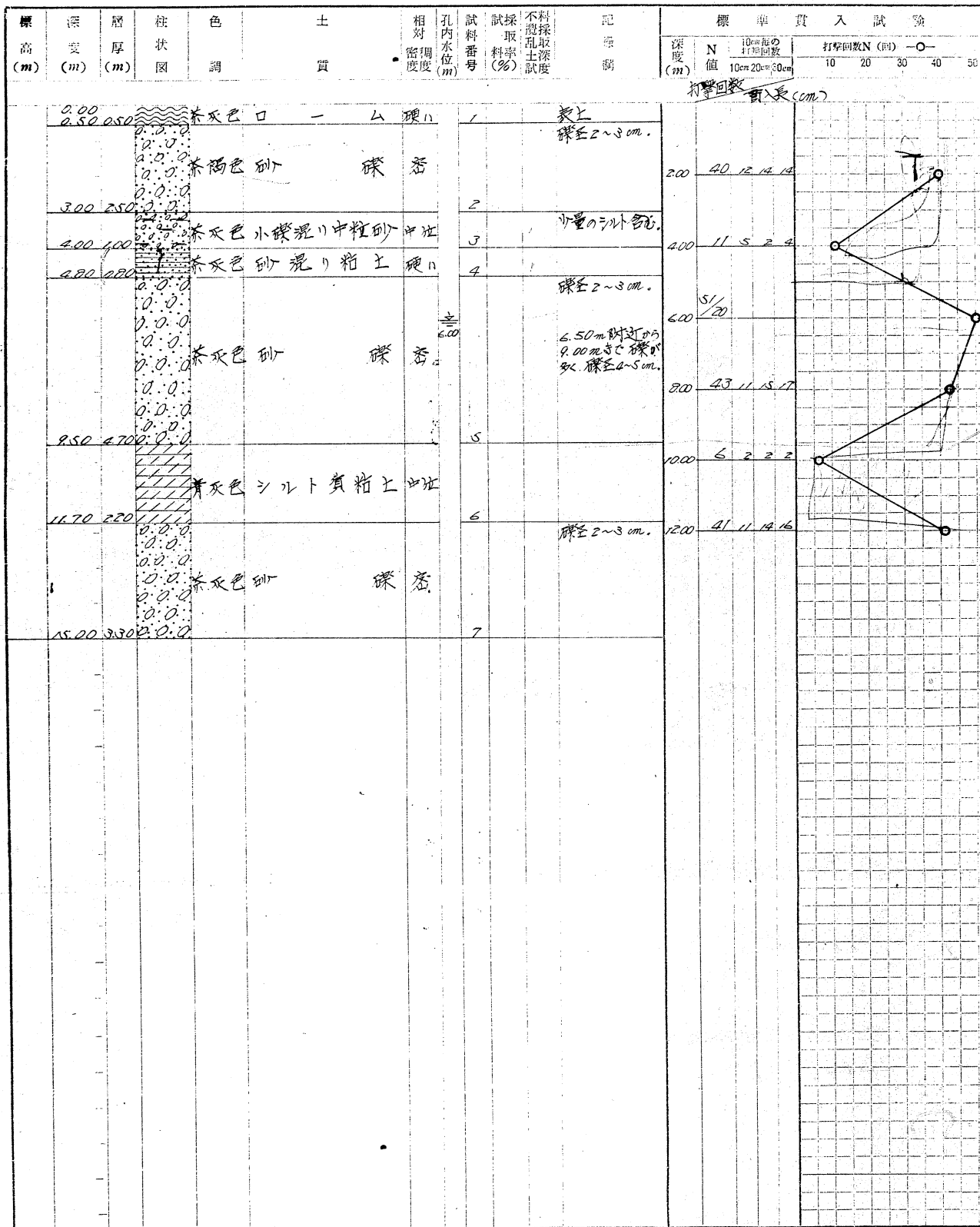
件名 宮城県警察学校新築工事水質調査

調査期間 昭和46年2月9日～2月14日

調査場所

V.O.S.孔

担当者 鈴木訓雄



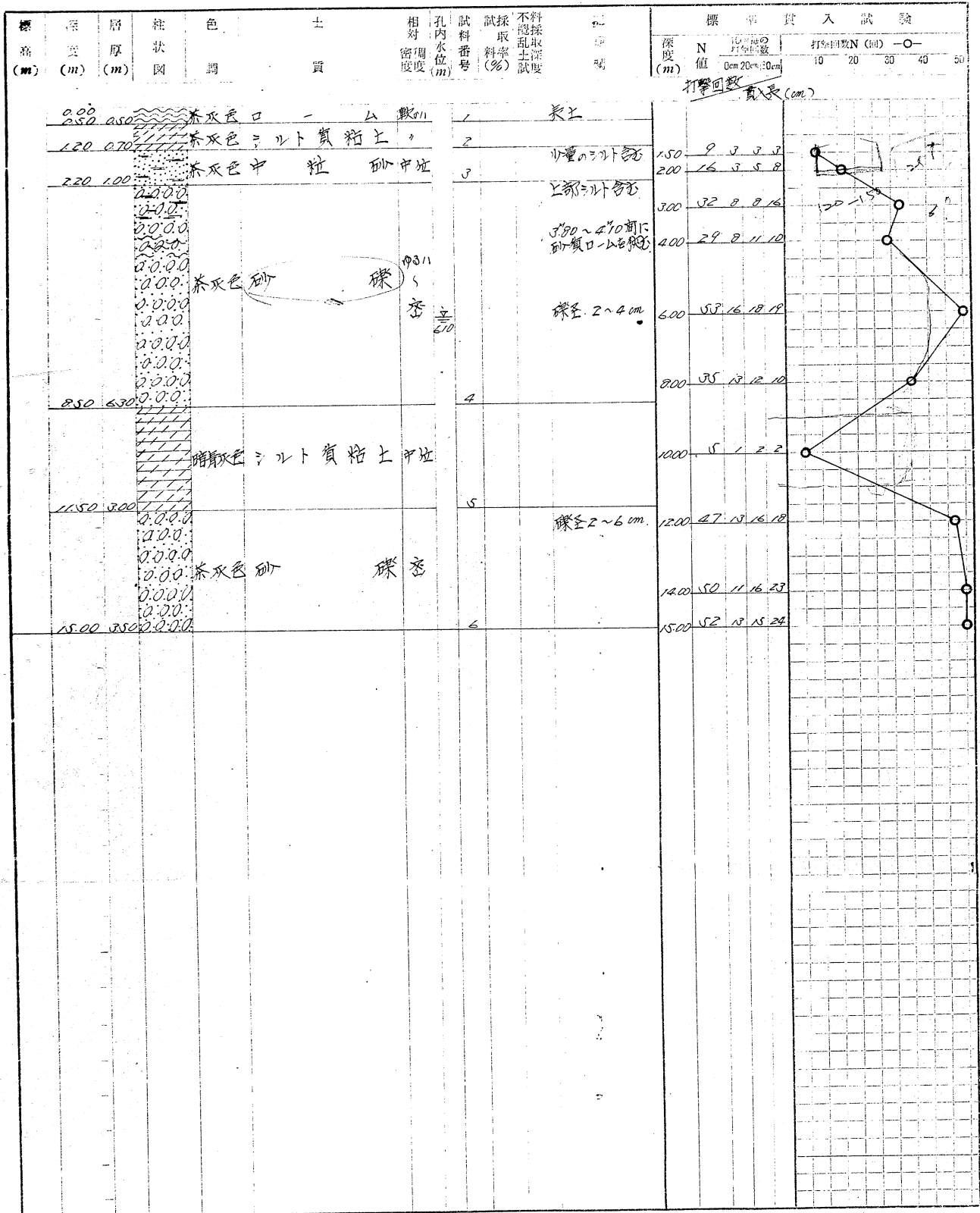
土質柱狀圖

姓名 高成渠 学校 会新蒙教中心校 调查

調査期間 昭和46年2月13日～2月18日

調查場所 No. 2. 孔

担当者 内 商 勝 明



調査 建築基礎

土質柱状図

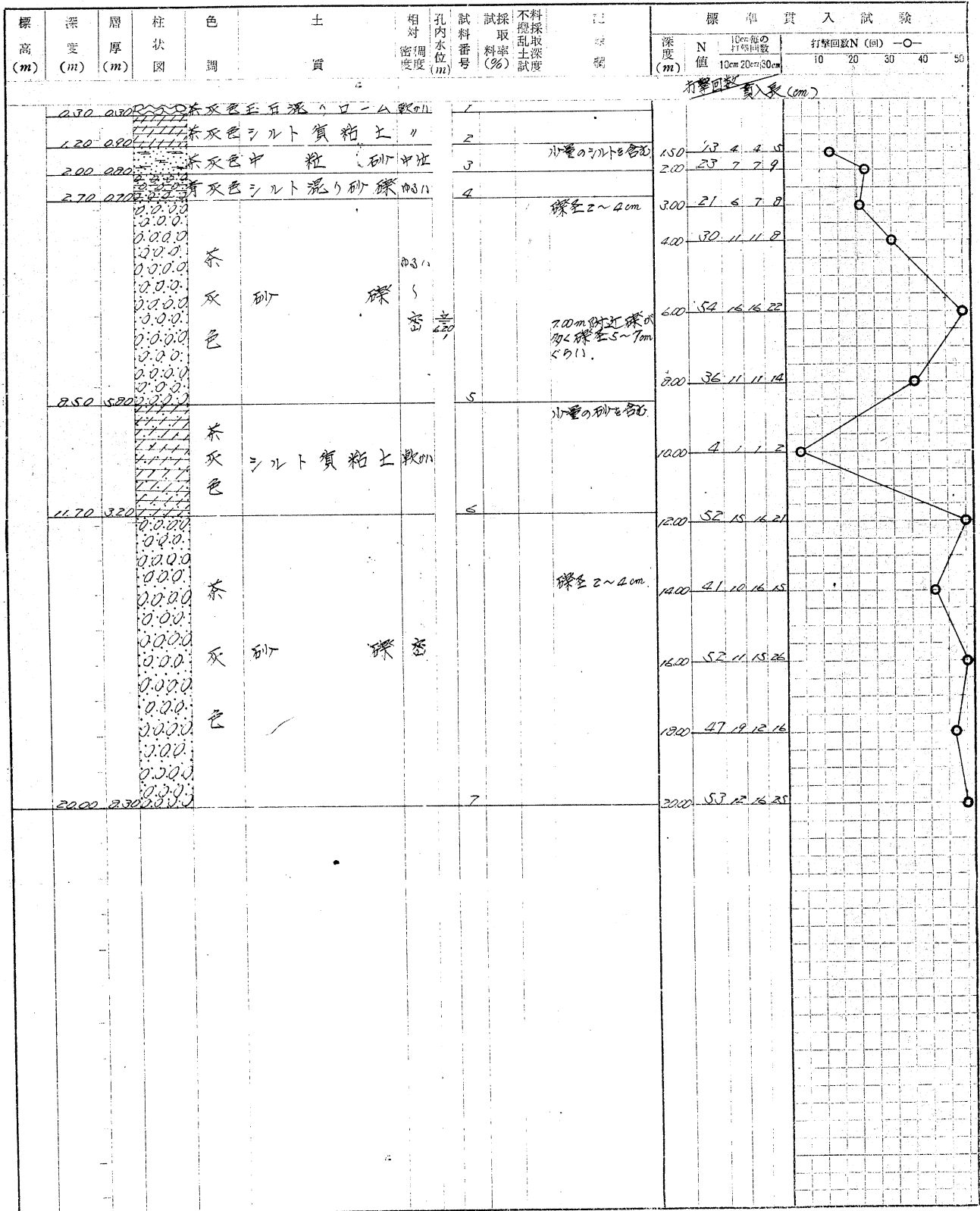
件名 宮城県立総合技術センター調査

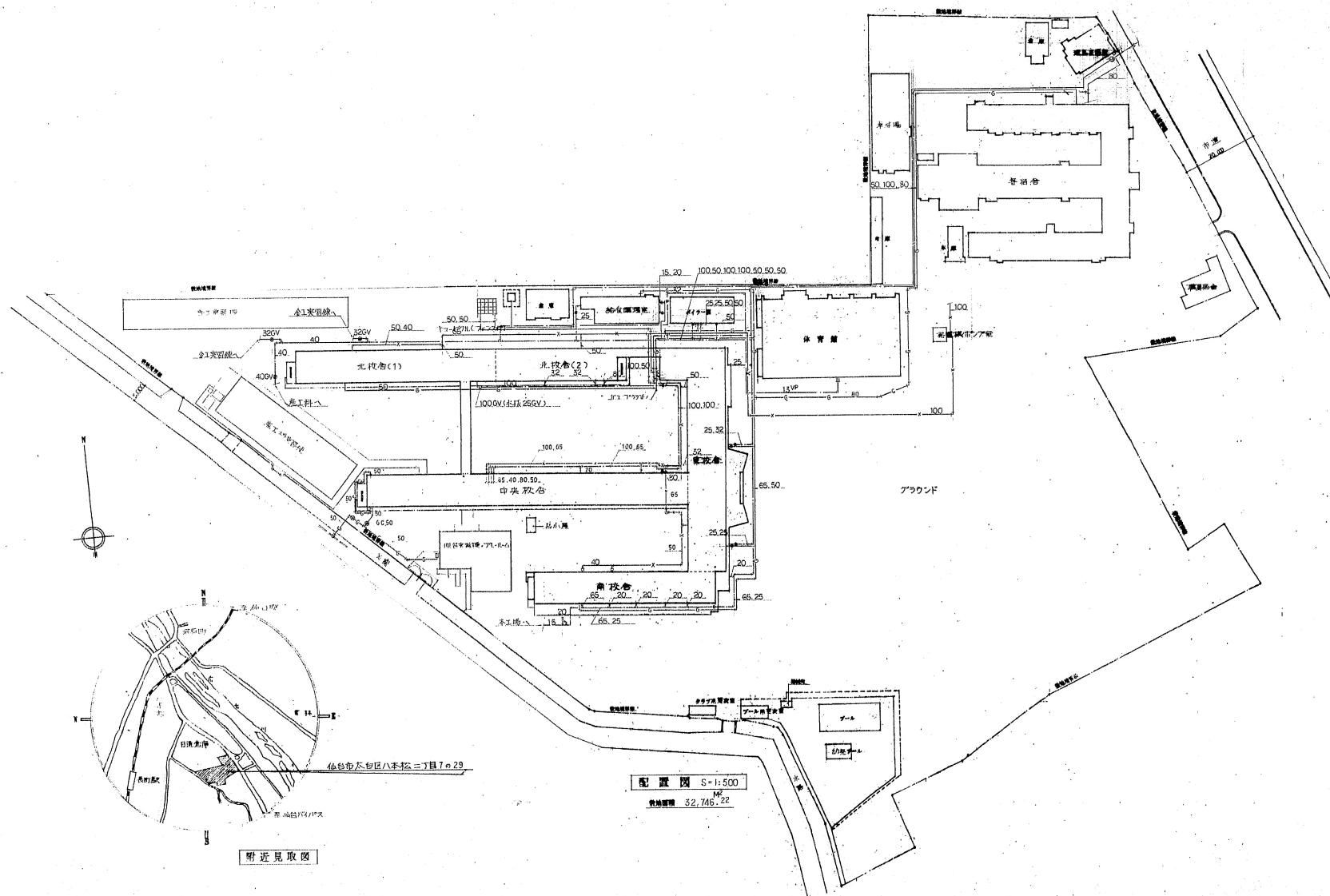
調査期間 昭和46年2月6日～2月13日

調査場所

N2136

担当者 門間 勝明





配置図 S=1:500
敷地面積 32,746.22

附近見取図



記
水

㈱志賀忠弥建築設計事務所

1 建築師士登録 第22318号 志賀一之

製作年月日

工事名称

さう学校大規模改修工事

承認

調査

製作

図面名称

外観・内装・電気・水道・ガス・暖房・空調 (全図面)

図面番号

M-19

縮尺

1:500

